

2021.6.1

号外

看護 ちば

令和3年度
定時総会開催



令和3年度 定時総会開催

期 日 令和3年6月23日(水) 9:10～12:30

会 場 Web開催

令和3年度千葉県看護協会定時総会プログラム

- 8:40 受 付
- 9:00 オリエンテーション
- 9:10 開 会
 会長挨拶
 公益社団法人千葉県看護協会会長表彰
 公益社団法人千葉県看護協会会長表彰受賞者謝辞
 各受賞者紹介
 叙勲、厚生労働大臣表彰、日本看護協会会長表彰
 来賓祝辞・祝電披露
- 9:50 議長団・議事録署名人選出
- 10:00 審議事項
 第1号議案 令和2年度事業報告及び決算報告並びに監査報告について
 第2号議案 令和3年度改選役員及び推薦委員の選任について
 第3号議案 会員以外の者からの監事の選任について
 第4号議案 2022年度公益社団法人日本看護協会通常総会 代議員・予備代議員の選出について
- 11:00 報告事項
 ・令和3年度千葉県看護協会事業計画・予算等について
 ・千葉県看護協会第5次看護職定着・確保推進計画について
 ・令和2年度理事会、職能委員会、常任委員会等報告
- 12:20 新旧役員・委員の紹介(旧役員等挨拶)
- 12:30 総会閉会
- 休憩(昼食) —

令和3年度千葉県看護協会職能集会プログラム

- 14:00 職能集会(Web開催)
 ・令和2年度職能委員会報告
 ・講演等
- 16:00 職能集会終了
- ※職能集会終了後 理事会(Web開催)

CONTENTS	2	プログラム	30	第3号議案 会員以外の者からの監事の選任について
	3	第1号議案 令和2年度事業報告及び決算報告 並びに監査報告について	31	第4号議案 2022年度公益社団法人日本看護協会 代議員・予備代議員の選出について
	29	第2号議案 令和3年度改選役員及び推薦委員の選任について		

令和2年度 事業報告

(新規事業：太字)

I 教育・研修等による看護の質の向上に関する事業

【目的】

県民に安全で安心な医療・看護を提供するために、職能団体の責任において、専門職としての生涯教育を提供し、看護職の資質の向上を図る。

事 業	内 容	(千葉県委託事業：★)																																																																																						
1.生涯教育 分類1 「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育 21コース 分類2 JNAラダーと連動した継続教育 48コース 分類3 看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育 10コース 分類4 専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育 2コース 分類5 資格認定教育 4コース 全85コース 1) 生涯教育再構築 (Web配信・ライブ) 28コース	1.生涯教育 令和2年度当初は全85コースを企画していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため全て中止し、3密を避けるために、演習を含めない講義中心の研修とした。資格習得、診療報酬上必要な研修、新人看護師、看護管理者対象の研修を基本に28コース再構築した。対面研修のほかにWeb配信ライブ研修、e-ラーニング等を新たな研修方法として加え、11月より再開した。 1) 生涯教育再構築 全28コース34研修→全25コース31研修 受講者数1,204名、受講率47.7%(前年82.3%)であり、前年に比較すると大幅に低下した。 (1)分類別開催状況 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">分 類</th> <th style="text-align: center;">生涯教育 (コース)</th> <th style="text-align: center;">委託研修 (コース)</th> <th style="text-align: center;">中止研修 (コース)</th> <th style="text-align: center;">実施研修 (コース)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分類1:「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td>分類2:JNAラダーと連動した継続教育</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">14</td> </tr> <tr> <td>分類3:看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育</td> <td style="text-align: center;">7</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">7</td> </tr> <tr> <td>分類4:専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>分類5:資格認定教育</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: center;">24</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">25</td> </tr> </tbody> </table> (2)研修方法別開催状況 (実施研修25コース) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">研修方法</th> <th style="text-align: center;">コース数</th> <th style="text-align: center;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対面研修</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td>・災害支援(基礎編) ・実地指導者研修</td> </tr> <tr> <td>対面研修+Web配信・ライブ</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>教育担当者研修</td> </tr> <tr> <td>Web配信・ライブ</td> <td style="text-align: center;">21</td> <td>フレッシュセミナー他</td> </tr> <tr> <td>e-ラーニング+Web配信・ライブ</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>医療安全管理者養成研修</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: center;">25</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> (3)研修後アンケート結果 ラダーについて 対象者：1,204名 回収数：789 回収率：65.5% ・ラダーは研修選択の参考になったか (N=789) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目</th> <th style="text-align: center;">大いに参考 になった</th> <th style="text-align: center;">参考に なった</th> <th style="text-align: center;">あまり参考 にならない</th> <th style="text-align: center;">参考に ならない</th> <th style="text-align: center;">無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回答数</td> <td style="text-align: center;">127</td> <td style="text-align: center;">557</td> <td style="text-align: center;">82</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">17</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td style="text-align: center;">16.1%</td> <td style="text-align: center;">70.6%</td> <td style="text-align: center;">10.4%</td> <td style="text-align: center;">0.8%</td> <td style="text-align: center;">2.1%</td> </tr> </tbody> </table> (4)研修後アンケート結果 Web配信について 対象者：1,182名 回収数：761 回収率：64.4% ①Web配信研修の受講環境 (N=761) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目</th> <th style="text-align: center;">自宅</th> <th style="text-align: center;">職場</th> <th style="text-align: center;">その他</th> <th style="text-align: center;">無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回答数</td> <td style="text-align: center;">303</td> <td style="text-align: center;">404</td> <td style="text-align: center;">49</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td style="text-align: center;">39.8%</td> <td style="text-align: center;">53.1%</td> <td style="text-align: center;">6.4%</td> <td style="text-align: center;">0.7%</td> </tr> </tbody> </table>	分 類	生涯教育 (コース)	委託研修 (コース)	中止研修 (コース)	実施研修 (コース)	分類1:「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育	3	1	1	3	分類2:JNAラダーと連動した継続教育	12	3	1	14	分類3:看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育	7	0	-	7	分類4:専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育	1	0	-	1	分類5:資格認定教育	1	0	1	0	合 計	24	4	3	25	研修方法	コース数	備考	対面研修	2	・災害支援(基礎編) ・実地指導者研修	対面研修+Web配信・ライブ	1	教育担当者研修	Web配信・ライブ	21	フレッシュセミナー他	e-ラーニング+Web配信・ライブ	1	医療安全管理者養成研修	合 計	25		項目	大いに参考 になった	参考に なった	あまり参考 にならない	参考に ならない	無回答	回答数	127	557	82	6	17	割合	16.1%	70.6%	10.4%	0.8%	2.1%	項目	自宅	職場	その他	無回答	回答数	303	404	49	5	割合	39.8%	53.1%	6.4%	0.7%	
分 類	生涯教育 (コース)	委託研修 (コース)	中止研修 (コース)	実施研修 (コース)																																																																																				
分類1:「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育	3	1	1	3																																																																																				
分類2:JNAラダーと連動した継続教育	12	3	1	14																																																																																				
分類3:看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育	7	0	-	7																																																																																				
分類4:専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育	1	0	-	1																																																																																				
分類5:資格認定教育	1	0	1	0																																																																																				
合 計	24	4	3	25																																																																																				
研修方法	コース数	備考																																																																																						
対面研修	2	・災害支援(基礎編) ・実地指導者研修																																																																																						
対面研修+Web配信・ライブ	1	教育担当者研修																																																																																						
Web配信・ライブ	21	フレッシュセミナー他																																																																																						
e-ラーニング+Web配信・ライブ	1	医療安全管理者養成研修																																																																																						
合 計	25																																																																																							
項目	大いに参考 になった	参考に なった	あまり参考 にならない	参考に ならない	無回答																																																																																			
回答数	127	557	82	6	17																																																																																			
割合	16.1%	70.6%	10.4%	0.8%	2.1%																																																																																			
項目	自宅	職場	その他	無回答																																																																																				
回答数	303	404	49	5																																																																																				
割合	39.8%	53.1%	6.4%	0.7%																																																																																				

②音声や画像の配信状態は適切でしたか (N=761)

項目	大いに適切だった	適切だった	あまり適切でない	適切でない	無回答
回答数	140	523	78	16	4
割合	18.4%	68.7%	10.3%	2.1%	0.5%

③資料の入手は適切でしたか (N=761)

項目	適切に入手できた	適切に入手できなかった	無回答
回答数	581	170	10
割合	76.4%	22.3%	1.3%

④時間配分は適切でしたか (N=761)

項目	大変適切だった	適切だった	あまり適切でない	適切でない	無回答
回答数	133	516	94	9	9
割合	17.5%	67.8%	12.3%	1.2%	1.2%

2)分類別実施状況

(1)分類1:「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育
4コース

- a.「新型コロナウイルス感染症の現状と対応～知っておきたいCOVID-19の基礎知識～」 100名
- b.★「認知症対応力向上研修」 36名
- c.「認知症高齢者の看護実践に必要な知識」(JNA収録DVD研修) 診療報酬加算対応 ×3 各36名×3回 108名
- d.「医療安全管理者養成研修会」(e-ラーニング・対面) 診療報酬加算対応

(2)分類2: JNAラダーと連動した継続教育 15コース

- ①ニーズをとらえる力 該当研修無し
- ②ケアする力
- a.「災害支援ナースの第一歩～災害看護の基本的知識～」(JNA収録DVD研修) 36名
- b.「災害医療と看護(実践編)」 100名
- c.「災害支援ナース更新・再登録要件講習会」 70名
- d.「糖尿病患者のセルフケア支援～糖尿病の最新知識と看護～」 100名
- e.「糖尿病患者のセルフケア支援～糖尿病性腎症の重症化予防～」 100名
- f.「高齢者施設における感染管理」 100名

2)分類別実施状況

(1)分類1:「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育(3コース+県委託研修1コース-中止1コース) 3コース終了

研修名	定員数	受講者数	受講率
a.新型コロナウイルス感染症の現状と対応～知っておきたいCOVID-19の基礎知識～	100	35	35.0%
b.★認知症対応力向上研修 中止			
c.【JNA収録DVD研修】認知症高齢者の看護実践に必要な知識【診療報酬加算対応】	108	104	96.3%
d.令和2年度医療安全管理者養成研修会(e-ラーニング+集合研修)【診療報酬加算対応】	100	56	56.0%
合計	308	195	63.3%

(2)分類2: JNAラダーと連動した継続教育 (12コース+県委託3コース-中止1コース) 14コース終了

- ①ニーズをとらえる力 (0コース)
- ②ケアする力 (5コース終了)

研修名	定員数	受講者数	受講率
a.【JNA収録DVD研修】災害支援ナースの第一歩～災害看護の基本的知識～	36	36	100.0%
b.災害医療と看護(実践編)	100	55	55.0%
c.災害支援ナース更新・再登録要件講習会	70	44	62.9%
d.糖尿病患者のセルフケア支援～糖尿病の最新知識と看護～	100	25	25.0%
e.糖尿病患者のセルフケア支援～糖尿病性腎症の重症化予防～ 中止			
f.高齢者施設における感染管理	100	14	14.0%
合計	406	174	42.9%

- b.災害医療と看護(実践編)
本研修は、当初、講義と演習で360分(2日間)の研修を企画していたが、令和元年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため開催を中止していたことから、研修要件をクリアする360分一日研修とし、Web開催で実施した。アンケート結果は94%が「満足」と回答していた。
- f.高齢者施設における感染管理
高齢者施設でのクラスター発生もありニーズが高いと思い企画したが、受講率が低かった。

- ③協働する力
 a.「医療安全Ⅲ～医療事故事例を法律から見てみる～」100名
 b.「リーダーを始める人のためのコーチング」100名
 c.「リーダーシップ研修～チーム力アップをめざすファシリテーションの技法～」100名

④意思決定する力 該当研修なし

⑤看護共通

- a.「フレッシュセミナー」×3回
 100～800名×3回 300～2,400名
 b.★「新人看護職員研修～摂食・嚥下障害のある患者の食事介助・基本姿勢と態度～」100名
 c.★「新人看護職員研修～フィジカルアセスメント～」100名
 d.★「新人助産師研修～ハイリスク妊婦ケア～」20名
 e.★「新人助産師研修～新生児のフィジカルアセスメントとケア～」20名
 f.★「実地指導者研修」36名
 g.「タイムマネジメント～ワークモライフも生き生きと！～」100名
 h.「これからのキャリア発達・キャリア開発を考える～人生100年時代を見据えて～」100名

(3)分類3：看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育 7コース

- a.「看護管理者研修①～看護管理の基本と管理者の役割～」100名
 b.「看護管理者研修②～看護管理者のための看護倫理～」100名
 c.「看護管理者研修③～組織管理と組織分析～」100名
 d.「看護管理者研修④～中途採用者の職場適応と育成～」100名
 e.「看護管理者研修⑤～組織運営におけるマネジメントと人材育成のためのコーチング～」100名
 f.「職場適応を支えるメンタルヘルス～うつ・発達障害の基本的知識とその対応～」100名
 g.「ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)について学ぼう！」100名

(4)分類4：専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育 1コース

- a.★「教育担当者研修」36名

③協働する力 (3コース終了)

研修名	定員数	受講者数	受講率
a.医療安全Ⅲ～医療事故事例を法律から見てみる～	100	23	23.0%
b.リーダーを始める人のためのコーチング	100	39	39.0%
c.リーダーシップ研修～チーム力アップをめざすファシリテーションの技法～	100	42	42.0%
合計	300	104	34.7%

④意思決定する力 該当研修なし

⑤看護共通

(6コース終了)

研修名	定員数	受講者数	受講率
a.フレッシュセミナー	300	252	84.0%
b.★新人看護職員研修～摂食・嚥下障害のある患者の食事介助・基本姿勢と態度～	200	58	29.0%
c.★新人看護職員研修～フィジカルアセスメント～			
d.★新人助産師研修～ハイリスク妊産婦ケア～	40	19	47.5%
e.★新人助産師研修～新生児のフィジカルアセスメントとケア～			
f.★実地指導者研修	36	28	77.8%
g.タイムマネジメント～ワークモライフも生き生きと！～	100	10	10.0%
h.これからのキャリア発達・キャリア開発を考える～人生100年時代を見据えて～	100	16	16.0%
合計	776	383	49.4%

a.フレッシュセミナー
 参加者数はすべての千葉県内の新人看護職員が受講できるよう、100人以上800名までが受講できるよう3回のWeb配信研修とし、252名の参加があった。

グループワークを通じて他施設の新人看護職からの学びを得ることがフレッシュセミナーのメリットであったが、今年度は、事前アンケートを取り、先輩に質問したいことなどを書いて提出してもらい、講義内で講師に回答してもらう形とした。

(3)分類3：看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育 (7コース) 7コース終了

研修名	定員数	受講者数	受講率
a.看護管理者研修①～看護管理の基本と管理者の役割～	100	78	78.0%
b.看護管理者研修②～看護管理者のための看護倫理～	100	57	57.0%
c.看護管理者研修③～組織管理と組織分析～	100	57	57.0%
d.看護管理者研修④～中途採用者の職場適応と育成～	100	52	52.0%
e.看護管理者研修⑤～組織運営におけるマネジメントと人材育成のためのコーチング～	100	60	60.0%
f.職場適応を支えるメンタルヘルス～うつ・発達障害の基本的知識とその対応～	100	17	17.0%
g.ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)について学ぼう！	100	9	9.0%
合計	700	330	47.1%

(4)分類4：専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育 (県委託研修1コース) 1コース終了

研修名	定員数	受講者数	受講率
a.★教育担当者研修	36	18	50.0%
合計	36	18	50.0%

・教育担当者研修については、受講率50%、満足度93%であった。対面研修として実施していたが、5日目のみWeb研修に変更し実施した。

(5)分類5：資格認定教育
a.★「喀痰吸引等指導者養成講習会」

1コース
36名

2.トピックス研修

3.千葉県看護研究学会

1)第39回千葉県看護研究学会
開催日：令和3年2月22日(月) 10:30～16:00
場 所：アパホテル&リゾート 東京ベイ幕張ホール

4.図書室の管理運営

1)図書室の管理運営

2)資料・文献検索・レファレンス

5.委員会の開催

1)事業運営のための委員会の開催
(1)教育委員会 年6回
(2)看護研究委員会 年6回
(3)認定看護管理者教育課程運営委員会 年2回程度
(4)千葉県看護教員養成講習会運営委員会

(5)分類5：資格認定教育 (県委託研修1コース)

研修名	定員数	受講者数	受講率
a.★喀痰吸引等指導者養成講習会(県委託研修)中止			

2.トピックス研修 (Web配信ライブ研修・コロナ共催)

1)研修内容

- ・目的：ワクチンの正しい知識を普及するため
- ・テーマ：「新型コロナウイルス感染症に対するmRNAワクチンについて」
- ・日時：令和3年2月17日(水) 18:00～19:00
- ・講師：千葉大学医学部附属病院
感染症内科・感染制御部 谷口俊文氏
- ・申込数：1,077名 アクセス数：832名

2)申込職種内訳 (N=1,077)

職種	保健師	助産師	看護師	准看護師	
人数	40	11	831	13	
職種	事務職	医師	看護補助者	理学療法士	その他
人数	59	21	16	16	70

3)アンケート結果

対象数：832名 回収数：184 回収率：22.1%

(1)ワクチン接種意向について (N=184)

項目	すぐに接種する	まだわからない	接種しない
回答数	168	14	2
割合	91.3%	7.6%	1.1%

(2)不安について (N=184)

項目	解消した	少し解消した	解消しない
回答数	96	86	2
割合	52.2%	46.7%	1.1%

(3)知識の獲得について (N=184)

項目	他者に説明できる	説明できる自信がない	説明できない
回答数	137	47	0
割合	74.5%	25.5%	0.0%

3.千葉県看護研究学会

1)第39回千葉県看護研究学会
日 時：令和3年2月22日(月) Web開催
・学会参加応募総数154名
(看護職59名、看護学生71名、座長、評価者等関係者24名)
・千葉県看護研究学会の演題申込数8演題(うち辞退2題)、発表6演題
・特別講演 東京医療保健大学副学長 坂本すが氏
「ナースはゲームチェンジャー」

4.図書室の管理運営

新型コロナウイルス感染拡大防止のため
令和2年8月17日～11月17日、
令和3年1月6日～3月31日の期間閉室

1)図書の管理運営

購入図書 13冊、寄贈図書 52冊、購入雑誌 31誌、寄贈雑誌 12誌

2)資料・文献検索・レファレンス

図書室利用 21件(うち研修受講者 3名)

5.委員会の開催

1)事業運営のための委員会の開催
(1)教育委員会 (9/15、10/15、11/19、12/17、2/24、3/5)
(2)看護研究委員会 (9/17、10/27、11/27、1/29、3/5)
(3)認定看護管理者教育課程運営委員会 (10/5、1/22)
(4)千葉県看護教員養成講習会運営委員会 (9/23、11/2、3/16)

II 看護師等の労働環境等の改善、就業促進等による看護師等の人材確保・定着に関する事業

【目的】

ヘルシーワークプレイスを踏まえて、看護職が専門性を発揮し、働き続けられるための環境づくりを推進し、看護職の定着・確保を図る。

事業	内容																																																																																																					
<p>1. 第4次千葉県看護職定着・確保推進計画の普及・推進</p> <p>1) 第4次千葉県看護職定着・確保推進計画の普及・推進、評価</p> <p>2) 第5次千葉県看護職定着・確保推進計画の策定</p> <p>3) 看護職定着確保対策協議会の開催 年2回</p> <p>4) 看護職定着・確保対策事業の普及啓発(再掲)</p> <p>(1) 「看護ちば」、ホームページ等による広報</p> <p>(2) 各種協会事業を通じた普及</p> <p>5) 労働環境改善委員会の開催 年6回</p> <p>6) 看護政策推進のための組織強化の推進</p> <p>2. 看護職の労働環境の向上</p> <p>1) ヘルシーワークプレイスの構築・推進事業</p> <p>(1) ヘルシーワークプレイスの広報</p> <p>(2) ヘルシーワークプレイス取組宣言施設の募集</p> <p>(3) ヘルシーワークプレイス推進週間の設置</p> <p>2) ワーク・ライフ・バランス相談窓口</p> <p>(1) 電話相談 (週2日)</p> <p>3. 看護進路相談事業</p> <p>1) 出前授業 (いのちの大切さ教育)</p> <p>2) ふれあい看護体験事業</p>	<p>1. 第4次千葉県看護職定着・確保推進計画の普及・推進</p> <p>1) 第4次千葉県看護職定着・確保推進計画の普及・推進、評価</p> <p>2) 第5次千葉県看護職定着・確保推進計画の策定</p> <p>(1) 看護職定着確保対策協議会作業部会設置(8月)</p> <p>(2) 看護職定着確保対策協議会作業部会開催 (8/26、9/30、10/26、12/23)</p> <p>3) 看護職定着確保対策協議会の開催 (12/3、1/14)</p> <p>4) 看護職定着・確保対策事業の普及啓発(再掲)</p> <p>(1) 「看護ちば」、ホームページ等による広報</p> <p>(2) 各種協会事業を通じた普及</p> <p>5) 労働環境改善委員会の開催 (9/16、10/21、11/13、12/11、1/8)</p> <p>6) 看護政策推進のための組織強化の推進</p> <p>2. 看護職の労働環境の向上</p> <p>1) ヘルシーワークプレイスの構築・推進事業</p> <p>(1) ヘルシーワークプレイスの広報 「看護ちば」 135号、136号</p> <p>(2) ヘルシーワークプレイス取組宣言施設の募集</p> <p> 令和2年10月19日～令和3年1月末</p> <p> 応募施設 1施設</p> <p>(3) ヘルシーワークプレイス推進週間の設置 令和2年10月1日～7日</p> <p>2) ワーク・ライフ・バランス相談窓口</p> <p>(1) 電話相談 (火・木)</p> <p>相談件数 (件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">相談件数</th> <th colspan="2">年度</th> </tr> <tr> <th>2年度</th> <th>元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">相談件数</td> <td>37</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">相談者内訳</td> <td>看護管理者</td> <td>13</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>個人</td> <td>24</td> <td>38</td> </tr> </tbody> </table> <p>相談内容別内訳</p> <p>看護管理者 (延べ件数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>定着確保</th> <th>パワハラ</th> <th>管理体制</th> <th>WLB関係</th> <th>就業規則</th> <th>新型コロナ</th> <th>他</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>12</td> <td>10</td> <td>13</td> <td>30</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>68</td> </tr> </tbody> </table> <p>※WLBワークショップ事業は令和元年度をもって終了。</p> <p>個人 (延べ件数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>教育体制</th> <th>パワハラ</th> <th>健康問題</th> <th>職場復帰</th> <th>人間関係</th> <th>待遇</th> <th>過重労働等</th> <th>新型コロナ</th> <th>他</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>2</td> <td>7</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>4</td> <td>10</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>37</td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 看護進路相談事業</p> <p>1) 出前授業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学校別</th> <th colspan="2">2年度</th> <th colspan="2">元年度</th> </tr> <tr> <th>施設数</th> <th>参加者数</th> <th>施設数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学校</td> <td>6</td> <td>699</td> <td>16</td> <td>1,901</td> </tr> <tr> <td>高等学校</td> <td>4</td> <td>102</td> <td>7</td> <td>759</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>10</td> <td>801</td> <td>23</td> <td>2,660</td> </tr> </tbody> </table> <p>内容：「いのちの大切さ、こころとからだの話」「看護職の仕事」等</p> <p>2) ふれあい看護体験事業 中止</p>	相談件数		年度		2年度	元年度	相談件数		37	93	相談者内訳	看護管理者	13	55	個人	24	38	項目	定着確保	パワハラ	管理体制	WLB関係	就業規則	新型コロナ	他	計	R2	3	1	2	6	1	0	1	14	R1	12	10	13	30	2	1	0	68	項目	教育体制	パワハラ	健康問題	職場復帰	人間関係	待遇	過重労働等	新型コロナ	他	計	R2	2	7	1	2	5	5	0	5	5	32	R1	4	10	2	2	7	7	2	0	3	37	学校別	2年度		元年度		施設数	参加者数	施設数	参加者数	中学校	6	699	16	1,901	高等学校	4	102	7	759	合計	10	801	23	2,660
相談件数				年度																																																																																																		
		2年度	元年度																																																																																																			
相談件数		37	93																																																																																																			
相談者内訳	看護管理者	13	55																																																																																																			
	個人	24	38																																																																																																			
項目	定着確保	パワハラ	管理体制	WLB関係	就業規則	新型コロナ	他	計																																																																																														
R2	3	1	2	6	1	0	1	14																																																																																														
R1	12	10	13	30	2	1	0	68																																																																																														
項目	教育体制	パワハラ	健康問題	職場復帰	人間関係	待遇	過重労働等	新型コロナ	他	計																																																																																												
R2	2	7	1	2	5	5	0	5	5	32																																																																																												
R1	4	10	2	2	7	7	2	0	3	37																																																																																												
学校別	2年度		元年度																																																																																																			
	施設数	参加者数	施設数	参加者数																																																																																																		
中学校	6	699	16	1,901																																																																																																		
高等学校	4	102	7	759																																																																																																		
合計	10	801	23	2,660																																																																																																		

3)進路相談事業

4)進路担当教員等への情報提供

- 4. 中小規模病院看護管理者の研修及び情報交換会
- 1) 中小規模病院看護管理者の研修及び情報交換会
- 5. ナースセンター事業(千葉県委託)
- 1) 看護職の定着確保に係る実態調査

3)進路相談事業

相談者別内訳

方法・相談者		年度	2年度	元年度	増減
相談件数(件)			34	43	△9
相談者別内訳(名)	高校生		0	2	△2
	保護者		4	9	△5
	一般		18	26	△8
	教員		1	0	1
	その他		11	6	5

相談内容別内訳

(延べ件数)

相談内容	年度	2年度	元年度
進学先・学校の選択		3	15
看護職への転向		14	12
就学資金、経済的負担		6	8
キャリアアップ		9	4
看護学生のハラスメント		1	0
その他		5	8
合計		38	47

4)進路担当教員等への情報提供

- 4. 中小規模病院看護管理者の研修及び情報交換会
- 1) 中小規模病院看護管理者の研修及び情報交換会 中止
- 5. ナースセンター事業(千葉県委託)
- 1) 看護職の定着確保に係る実態調査
- (1) 看護職の定着確保動向調査

対象	調査期間	回収数	回収率
病院看護管理者 290施設	9/16 ~ 9/30	176	60.7%
新人看護職員 千葉県看護協会 会員施設(570施設)	12/15 ~ 12/24 (Web調査)	791	/
未就業看護職 282名	9/16 ~ 9/30	75	

主たる調査結果から

(病院看護管理者)

○離職率

	2年度	元年度	JNA 2年度
常勤看護職員	12.4%	12.2%	11.5%
新卒看護職員	8.2%	8.4%	8.6%
既卒看護職員	28.1%		16.4%

(新人看護職)

- 社会人経験について : ある191名(24.1%) ない 598名(75.6%)
- やめたいと思ったこと : ある595名(71.4%、前年度69.7%)
- やめたいと思った理由 : 看護職に向いていない39.9%
- 勤務時間内の仕事が終わらない 37.0%
- 医療事故を起こさないか心配 34.1%
- 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い困ったこと : ある623名(78.8%)
- 理由 : ストレス発散ができない 78.7%
- 同僚との交流がない 62.8%
- 感染がこわい 51.8%

(未就業看護職)

○離職理由

	2年度	元年度
1 人間関係	24.0%	1 人間関係 31.1%
2 健康上の理由	17.3%	2 健康上の理由 19.7%
2 出産育児のため	17.3%	3 結婚 13.1%
3 看護内容への不満	14.7%	3 転居 13.1%
3 自分の適正能力への不安	14.7%	3 看護内容への不満 13.1%

(2)看護職の再就業者実態調査

対 象：令和元年度千葉県ナースセンター登録の再就業者 152名
調査時期：10/26～11/13
回収数：76 回収率：50.0%
結 果：就業先決定の決め手

2年度		元年度	
1	勤務時間	1	勤務時間
2	立地（通勤に便利な場所等）	2	立地（通勤に便利な場所等）
3	看護領域、看護・業務内容	3	看護領域、看護・業務内容
4	給与	4	休日・休暇制度
5	家族の支援・同意	4	家族の支援・同意

2)看護職の無料職業紹介

2)看護職の無料職業紹介

(1)eナースセンターを活用した職業紹介

第6次ナースセンターコンピュータシステム(NCCS)運用開始(4/3開始)
(名)

利用者別	年度	2年度	元年度	増減
eナースセンター利用者数		5,090	7,319	△2,229
新規求人数		1,949	2,022	△73
新規求職者数		876	752	124
紹介者数		592 (延人数684)	369 (延人数387)	223 (延人数297)
就職者数		351	369	△18

※ e ナースセンター利用者数減少は、第6次NCCSへのシステム変更による。

※就職者数のうち、新型コロナウイルス関連の就職者 19名

(保健所7名、検疫所6名、PCR検査3名、軽症者療養施設3名)

(2)「医療のお仕事Key-Net」(厚労省の緊急医療人材等確保促進プラン)による職業紹介(求人受付期間6月24日～9月9日)

求人登録件数 42件(うちeナースセンター登録件数 27件)

就職者数 3名(保健所1名、検疫所2名)※(1)の再掲

3)届出制度(とどけるん)

(1)離職届の受理

3)届出制度(とどけるん)

(1)離職届の受理

①受付区分別届出状況 (人)

内訳	年度	2年度	元年度	増減
届出者数		1,097	1,033	64
代行届数		689	695	△6
代行届出率		62.8%	67.3%	

②届出による支援対象者数 (人)

内訳	年度	2年度	元年度	増減
復職の意向「すぐに」		39	37	2
復職の意向「いずれ」		94	77	17
復職の意向「未定」		313	355	△42
計		446	469	△23

(2)一斉メール等によるeナースセンター登録の推進

(3)情報提供(合同就職説明会、研修会、求人)

(4)就業支援

(5)郵送による就業調査

(2)一斉メール等によるeナースセンター登録の推進

(3)情報提供(合同就職説明会、研修会、求人)

(4)就業支援(電話・メール・面接等)

(5)郵送による就業調査

対 象 者：届出による支援対象者

調査方法：届出3か月後に往復はがき郵送による確認

内訳	年度	2年度	元年度	増減
対象者数		446	469	△23
発送数※		308	376	△68
回収数		130	135	△5
回収率		42.2%	35.9%	6.3
就業者数		67	65	2

※4月～12月の届出者に送付

4)未就業看護職の就業支援

(1)看護基礎技術講習会 (5回/月程度開催)

(2)合同就職説明会の開催 (年4回程度)

(3)訪問看護基礎研修会 (年5回)

- ①半日コース 年2回 (ナースセンター 1回、地区)
- ②1日コース 年3回 (ナースセンター)

③研修会受講後の再就業支援 (再掲)

(4)看護職への求人情報の提供(年4回発行)

(5)公共職業安定所と連携した相談ブースの設置

- (千葉2回/月、松戸2回/月、木更津1回/月、成田1回/月、船橋1回/月)

(6)未就業看護師等再就業支援セミナーの開催

- 2回/年程度 (ナースセンター、その他ハローワーク等にて開催)

(7)サテライト事業の推進

- ①公共職業安定所と連携した相談ブースの設置 (再掲)
- ②合同就職説明会の開催 (再掲)
- ③再就業支援セミナーの開催 (再掲)

4)未就業看護職の就業支援

(1)看護基礎技術講習会

(6)の未就業看護師等再就業支援セミナーの2日目午後実施

実施状況	年度		
	2年度	元年度	増減
開催回数	14	61	△47
参加者数	63	88	△25
就業者数	26	49	△23
就業率	41.3%	55.7%	

内容：採血・注射法、吸引 (8月～9月のみ)、経管栄養(8月のみ)

(2)合同就職説明会の開催 中止

(3)訪問看護基礎研修会

- ①半日コース (11/9ナースセンター 12/1佐倉市 2/9Web開催)
- ②1日コース (8/7中止 9/4中止 1/22は半日に変更)

開催場所	開催日	参加者数	就業者数
ナースセンター	11/9	4	/
佐倉市	12/1	7	
Web開催	2/9	3	
計		3	14
元年度		5	77
			11

③研修会受講後の再就業支援 (再掲)

(4)看護職への求人情報の提供

- 提供日：7/21、9/23、12/22、3/23 提供数：各500部
- 配布先：未就業者、ハローワーク等関係機関、ナースセンター来所者

(5)公共職業安定所と連携した相談ブースの設置

- 4月～6月中止、7月～12月予約制、1月～3月中止

出張相談会

(名)

ハローワーク	令和2年度			令和元年度		
	開催回数	相談者数	就業者数	開催回数	相談者数	就業者数
千葉	11	10(9)	3	22	93(90)	33
木更津	6	14(14)	1	11	31(26)	7
松戸	11	22(20)	5	24	64(60)	17
船橋	6	8(8)	5	12	34(31)	13
成田	6	10(9)	2	12	35(31)	12
合計	40	64(60)	16	81	257(238)	82

※相談者数は求職者、求人施設、進路相談の合計 ()内は求職者再掲

(6)未就業看護師等再就業支援セミナーの開催

※日本看護協会委託事業「地域の医療提供体制確保のための看護職員派遣調整事業」として実施

開催回数：8月～3月 14コース開催 (1コース2日間)

内容：感染対策、医療安全、技術演習

参加人数：81名

就業者数：37名 (就業率 45.7%)

就業先：病院12名、介護福祉施設11名、診療所6名、保健所2名、訪問看護ステーション1名、検疫所1名、新型コロナウイルス療養施設1名、団体1名、少年院1名、ワクチン接種1名

(7)サテライト事業の推進

- ①公共職業安定所と連携した相談ブースの設置 (再掲)
- ②合同就職説明会の開催 (再掲)
- ③再就業支援セミナーの開催 (再掲)

- (8)就業相談推進アドバイザーによる施設訪問
- (9)プラチナナース研修会
対象：55才以上で定年退職を迎える看護職、定年した未就業看護職
- (10)就業確認の郵送調査

- 5)ナースセンター運営委員会の開催 年1回
- 6)ナースセンター事業の広報
- 7)関係機関との連携
(日本看護協会、中央ナースセンター、公共職業安定所等)

8)看護職への相談支援

- 9)看護進路相談事業(再掲)
- 10)ナースセンターの維持管理

6.医療・看護における安全対策

- 1)医療・看護に関する相談支援、情報提供
(1)医療事故調査に関する情報提供、支援者紹介
- 2)医療安全推進週間の推進
(1)医療安全大会の開催
開催日：令和2年11月15日(日)
場 所：幕張メッセ国際会議場

- (8)就業相談推進アドバイザーによる施設訪問
訪問施設数：1施設
- (9)プラチナナース研修会
開催日：2/26
対 象：55才以上で定年退職を迎える看護職、定年した未就業看護職
参加者：30名(就業者29名、未就業者1名)
(元年度 参加者40名 うち就業者36名、未就業者4名)
- (10)就業確認の郵送調査
対 象：ナースセンターの支援者のうち就業が未確認の者

内訳	2年度	元年度	増減
対象者数	386	671	△285
回収数	128	236	△108
回収率	33.2%	35.2%	△2.0
就業者数	70	126	△56

- 5)ナースセンター運営委員会の開催 (3/18Web開催)
- 6)ナースセンター事業の広報
ホームページ・看護ちば掲載
「千葉県ナースセンターのご案内」リーフレット作成
「退職される看護職の皆さまへ」リーフレット作成
- 7)関係機関との連携
(日本看護協会、中央ナースセンター、公共職業安定所等)
(1)ナースセンター事業担当者会議 (7/3書面開催)
(2)都道府県ナースセンターとの地区別意見交換会 (9/2Web開催)
(3)ナースセンター・ハローワーク連携事業連絡調整会議 (3/25書面開催)
(4)都道府県ナースセンター相談員研修 (2/2～2/24) Web開催
- 8)看護職への相談支援

支援状況	2年度	元年度	増減
面接	109	354	△245
電話	1,537	1,636	△99
NCCS・メール	2,030	1,842	188
FAX等	25	35	△10
計	3,701	3,867	△166

- 9)看護進路相談事業(再掲)
- 10)ナースセンターの維持管理

6.医療・看護における安全対策

- 1)医療・看護に関する相談支援、情報提供
(1)医療事故調査に関する情報提供、支援者紹介
顧問弁護士による看護ちばへの情報提供 (4月、7月、10月、1月)
(2)相談：なし
- 2)医療安全推進週間の推進
(1)医療安全大会の開催
開催日時：令和2年11月15日(日) 13:00～16:00 Web開催
参加者：151名(看護職136名90%、他職種15名10%)
テ ー マ：「地域連携で支える医療安全」
内 容：・医療安全に関する表彰標語の発表
・講演1
「医療安全対策地域連携の実践
～施設内・施設外の連携の実際～」
講師：医療法人鉄蕉会 亀田総合病院
医療安全管理室長 鈴木 真 氏
・講演2
「医療安全地域連携評価の実践
～南大阪医療安全ネットワークで作成した評価表を
使って～」
講師：医療法人宝生会 PL病院 医療安全管理室長
病院統括リスクマネージャー 堀田いずみ 氏

<p>(2)医療安全推進の普及啓発 ①医療安全に関する標語の募集</p> <p>②ポスター等による普及啓発</p> <p>3)医療安全管理者の育成 (1)医療安全管理者養成研修会(再掲) (2)医療安全担当者中央交流会 (年1回)</p> <p>(3)医療安全担当者地区交流会 (2年目：市川・千葉・船橋地区 1年目：印旛・山武地区)</p> <p>4)関係機関等との連携促進</p> <p>5)医療安全委員会の開催 年6回</p>	<p>(2)医療安全推進の普及啓発 ①医療安全に関する標語の募集 (名)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>応募者数</td> <td>1,327</td> <td>1,621</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">内訳</td> <td>看護職 882 (66.5%)</td> <td>1,110 (68.5%)</td> </tr> <tr> <td>他職種 445 (33.5%)</td> <td>551 (31.5%)</td> </tr> <tr> <td>応募施設数</td> <td>84</td> <td>105</td> </tr> </tbody> </table> <p>・入賞作品 最優秀賞「声あげよう あなたの気づきが 事故へらす」 優 秀 賞「間違いは いつでも どこでも あなたでも」</p> <p>②ポスター等による普及啓発 発送先：病院289、公的機関119、その他会員施設288、他団体・企業等56</p> <p>3)医療安全管理者の育成 (1)医療安全管理者養成研修会(再掲) (2)医療安全担当者中央交流会 (2/6Web開催) 参加者：45名 (3)医療安全担当者地区交流会 中止</p> <p>4)関係機関等との連携促進 日本看護協会 都道府県医療安全担当役員会議 (3/3Web開催)</p> <p>5)医療安全委員会の開催 (9/30、11/20、12/18、1/15Web開催、2/19 Web開催)</p>		令和2年度	令和元年度	応募者数	1,327	1,621	内訳	看護職 882 (66.5%)	1,110 (68.5%)	他職種 445 (33.5%)	551 (31.5%)	応募施設数	84	105
	令和2年度	令和元年度													
応募者数	1,327	1,621													
内訳	看護職 882 (66.5%)	1,110 (68.5%)													
	他職種 445 (33.5%)	551 (31.5%)													
応募施設数	84	105													

Ⅲ 訪問看護の推進に関する事業

【目的】

在宅医療の中核を担う訪問看護の質の向上を図り、安定的な供給を図る。

事 業	内 容
<p>1.訪問看護推進事業（千葉県委託） 1)訪問看護推進協議会の開催 2)訪問看護に関する総合相談の実施</p> <p>3)訪問看護の普及啓発事業 (1)看看連携・看看ケアマネ連携フォーラム (安房地区、他1ヶ所)</p> <p>(2)パンフレットの配布</p> <p>4)訪問看護師指導者育成研修会（年2回）</p> <p>5)訪問看護再就職支援事業 (1)訪問看護ステーション見学体験事業 (2)訪問看護就職フェア（年1回）</p> <p>6)訪問看護病院経営者（看護管理者）講習会（年1回）</p>	<p>1.訪問看護推進事業（千葉県委託） 1)訪問看護推進協議会の開催（8/27） 2)訪問看護に関する総合相談の実施 相談件数44件 相談者内訳：看護職35.6%、県民26.7%、ケアマネジャー 17.8%、その他19.9% 相談内容内訳：訪問看護サービス詳細（算定、加算、保険種別、施設入居等）66.7%、介護に関する事11.1%、処置に関する事6.7%、運営管理6.7%、管理業務の不安4.4%、その他4.4%</p> <p>3)訪問看護の普及啓発事業 (1)看看連携・看看ケアマネ連携フォーラム ①看看ケアマネ連携フォーラム（安房地区）（12/19Web開催） 参加者：21名 ②看看連携フォーラム 中止 (2)パンフレットの配布 配布物：「訪問看護利用の手引き」等 配布方法：ホームページ掲載（ダウンロード可）</p> <p>4)訪問看護師指導者育成研修会（2/13、2/20Web開催） 参加者：1回目 22名、2回目 24名</p> <p>5)訪問看護再就職支援事業 (1)訪問看護ステーション見学体験事業 中止 (2)訪問看護就職フェア 中止</p> <p>6)訪問看護病院経営者（看護管理者）講習会（1/30Web開催） 参加者：12名</p>

<p>2.訪問看護出向支援事業（千葉県委託）</p> <p>1)訪問看護ステーション等出向支援事業のコーディネート業務</p> <p>3.訪問看護推進事業（協会単独事業）</p> <p>1)訪問看護師人材育成事業</p> <p>(1)「新卒者等訪問看護師育成プログラム」に基づく人材育成支援事業 対象：新卒訪問看護師</p> <p>(2)「新卒者等訪問看護師育成プログラム」に基づく人材育成支援事業の普及</p> <p>(3)訪問看護師養成講習会の開催（再掲）</p> <p>2)訪問看護ステーションIT化等推進事業</p> <p>(1)「(旧)千葉県看護協会版訪問看護ソフト」用IT機器貸与の継続管理（1事業所予定）</p> <p>4.関係機関との連携</p> <p>1)日本看護協会、訪問看護事業協会等との連携</p> <p>2)医師会、千葉県訪問看護ステーション協会等との連携</p>	<p>2.訪問看護出向支援事業（千葉県委託）</p> <p>1)訪問看護ステーション等出向支援事業のコーディネート業務 マッチング3名、出向支援3名（出向元病院2カ所、出向先事業所2カ所）</p> <p>3.訪問看護推進事業（協会単独事業）</p> <p>1)訪問看護師人材育成事業</p> <p>(1)「新卒者等訪問看護師育成プログラム」に基づく人材育成支援事業 支援2名（新卒1年目1名9月終了、新卒2年目1名3月修了）</p> <p>(2)「新卒者等訪問看護師育成プログラム」に基づく人材育成支援事業の普及 進路ガイダンス（2/3Web参加）</p> <p>(3)訪問看護師養成講習会の開催（再掲）</p> <p>2)訪問看護ステーションIT化等推進事業</p> <p>(1)「(旧)千葉県看護協会版訪問看護ソフト」用IT機器貸与の継続管理 1事業所（3月で終了）</p> <p>4.関係機関との連携</p> <p>1)日本看護協会、訪問看護事業協会等との連携</p> <p>2)医師会、千葉県訪問看護ステーション協会等との連携 千葉県看護協会と千葉県訪問看護ステーション協会との連携会議（12/12）</p>
---	--

IV 県民への健康・福祉の増進に関する事業	
【目的】 看護を通して、県民の健康の保持増進に寄与するとともに、看護への理解を深める。	
事業	内容
<p>1.「看護の日」「看護週間」事業</p> <p>1)Nursing Now キャンペーンの実施</p> <p>2)「看護の日・看護週間」制定30周年・ナイチンゲール生誕200周年記念事業in ちば テーマ：「看護」は世紀を越えて進化する ～看護の力で健康な社会を！～ — 地域で輪となりつなげる看護 —</p> <p>第1部 日 時：令和2年5月10日（日） 会 場：東京ベイ幕張ホール 内 容：開会式及び記念講演等</p> <p>第2部 日 時：令和2年5月16日（土） 会 場：12地区部会が決定した場所 内 容：各種測定、健康に関する各種相談等</p> <p>3)実行委員会の開催（2回）</p> <p>2.「まちの保健室」事業</p> <p>1)常設型の開催 開催場所 12地区部会の決定会場</p> <p>2)イベント型の積極的な開催</p>	<p>1.「看護の日」「看護週間」事業</p> <p>1)Nursing Now キャンペーンの実施</p> <p>2)「看護の日・看護週間」制定30周年・ナイチンゲール生誕200周年記念事業in ちば テ ー マ：「看護」は世紀を越えて進化する ～看護の力で健康な社会を！～ 方 法：Web開催 開催日及び参加者：11/29 13:00～16:00 142名</p> <p>第1部 記念講演：認定NPO法人マギーズ東京共同代表理事・センター長、 第47回フローレンス・ナイチンゲール記章受章者 秋山正子氏 県行政からのメッセージ：千葉県健康福祉部保健医療担当部長 渡辺真俊氏</p> <p>実践報告：地域で輪となりつなげる看護！ ・千葉県循環器病センター 継続看護担当上席看護師長、 皮膚・排泄ケア特定認定看護師 鈴木由加氏 ・千葉県訪問看護ステーション協会 会長 山崎潤子氏</p> <p>第2部 中止</p> <p>3)実行委員会の開催（7/28、2/18）</p> <p>2.「まちの保健室」事業</p> <p>1)常設型 中止</p> <p>2)イベント型 中止</p>

3.自殺予防対策

1)心の総合相談

(1)専用電話・専用メールによる相談対応

(2)自殺予防に関する広報

(3)相談員研修

2)人材育成研修の開催（再掲）

- (1)「看護師のストレスマネジメント～アンガーマネジメントの視点を取り入れて～」(再掲)
- (2)「ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)について学ぼう」(再掲)
- (3)「職場適応を支えるメンタルヘルス～うつ・発達障害の基本的知識とその対応～」(再掲)

4.関係機関・他団体への協力

1)小児救急電話相談事業への協力

2)研修会等への講師紹介や派遣

3)行事等への参加

5.災害支援対策事業

1)災害支援ネットワークの強化

- (1)災害時における関係機関との連携
 - ①日本看護協会及び都道府県看護協会
 - ②千葉県、関係団体等
- (2)平常時における連携
 - ①県内施設、日本看護協会等合同防災訓練
 - ②九都県市合同防災訓練、市町村等訓練への参加

2)災害に備えた支援体制の整備

- (1)災害支援ナースの登録促進
- (2)災害支援ナースの登録・管理
- (3)災害救護対応マニュアル等の見直し
- (4)災害時の災害支援ナースの派遣調整
- (5)災害時必要物品の管理 年1回

3)災害支援ナースの育成

- (1)「災害支援ナースの第一歩～災害看護の基礎知識～」(再掲)
- (2)「災害医療と看護(実践編)」(再掲)
- (3)「災害支援ナース更新・再登録要件講習会」(再掲)

4)災害対策委員会の開催 年6回

3.自殺予防対策

1)心の総合相談

(1)専用電話・専用メールによる相談対応

(緊急事態宣言中の4月末～9月、2月～3月末まで電話相談中止)

相談件数：167件(電話111件、メール56件)

相談者数：163名(県民151名、看護職11名、看護学生1名)

相談内容(上位5項目の件数と割合)

	件数比較		割合比較	
	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度
精神的問題	40	項目なし	23.9	項目なし
家庭関係	30	100	17.9	14.7
身体健康問題	19	131	11.3	19.3
検査・治療関係	20	97	11.9	14.3
人間関係	13	100	7.7	14.7

・令和2年度より相談内容をさらに細分化するため、精神的問題を追加した。

(2)カード式広告の発送(医療機関250件、県・市町村行政138件、会員施設等253件)

(3)相談員研修

2)人材育成研修の開催(再掲)

- (1)看護師のストレスマネジメント～アンガーマネジメントの視点を取り入れて～ 中止
- (2)ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)について学ぼう(再掲)
- (3)職場適応を支えるメンタルヘルス～うつ・発達障害の基本的知識とその対応～(再掲)

4.関係機関・他団体への協力

1)小児救急電話相談事業への協力

(1)勤務表作成(4月、6月、8月、10月、12月、2月)

(2)相談員研修会(1/9、2/11)

(3)小児救急電話相談事業協議会(3/15)

2)研修会等への講師紹介や派遣

3)行事等への参加

5.災害支援対策事業

1)災害支援ネットワークの強化

- (1)災害時における関係機関との連携
 - ①日本看護協会及び都道府県看護協会
 - ②千葉県、関係団体等
- (2)平常時における連携
 - ①県内施設、日本看護協会等合同防災訓練(12/8～10)
 - 想定：青森県で震度7の地震が発生
 - 災害支援ナース所属施設：77施設
 - 協力施設：57施設
 - ②九都県市合同防災訓練 中止、市町村等訓練 中止
 - ③日本看護協会主催「令和2年度都道府県看護協会災害看護担当者会議」(11/11Web開催)

2)災害に備えた支援体制の整備

- (1)災害支援ナースの登録促進
- (2)災害支援ナースの登録・管理(3月末現在 246名)
- (3)災害救護対応マニュアル等の見直し
- (4)災害時の災害支援ナースの派遣調整
- (5)災害時必要物品の管理

3)災害支援ナースの育成

- (1)災害支援ナースの第一歩～災害看護の基礎知識～(再掲)
- (2)災害医療と看護(実践編)(再掲)
- (3)災害支援ナース更新・再登録要件講習会(2/26)(再掲)

4)災害対策委員会の開催(7/1、9/2、12/2、3/3Web開催)

V 看護に関する調査研究、看護業務の開発及び看護制度への提言等に関する事業

【目的】

看護を取り巻く課題を明確にし、看護職の専門性や看護の発展に寄与する。

事業	内容
<p>1. 職能委員会</p> <p>1) 保健師職能委員会 年6回程度</p> <p>2) 助産師職能委員会 年6回程度</p> <p>3) 看護師職能委員会(領域Ⅰ) 年6回程度</p> <p>4) 看護師職能委員会(領域Ⅱ) 年6回程度</p> <p>2. 職能集会・交流会</p> <p>1) 職能集会 開催日：令和2年6月23日(火) 場 所：アパホテル&リゾート 東京ベイ幕張ホール</p> <p>(1) 保健師職能集会 1回</p> <p>(2) 助産師職能集会 1回</p> <p>(3) 看護師職能集会(領域Ⅰ) 1回</p> <p>(4) 看護師職能集会(領域Ⅱ) 1回</p> <p>2) 各職能別交流会</p> <p>(1) 保健師職能交流会 1回</p> <p>(2) 助産師職能交流会(管理者、中堅) 2回</p> <p>(3) 看護師職能交流会(領域Ⅰ) 1回</p> <p>(4) 看護師職能交流会(領域Ⅱ) 1回</p> <p>(5) 准看護師交流会 1回</p> <p>1. 県行政等への要望・意見具申</p> <p>1) 県の令和3年度予算等に関する要望書の提出</p> <p>2) 県議会等の活動への協力依頼等</p> <p>3) 県へ新型コロナウイルス感染症対策に関する要望書の提出</p> <p>4) 千葉県医療審議会等への参画</p> <p>2. 看護関連施策に対する提言(看護制度)</p> <p>1) 国・日本看護協会等の要望・提言</p> <p>2) 資格認定制度の推進</p> <p>(1) 専門看護師、認定看護師等の資格取得の促進</p> <p>(2) 特定行為に係る看護師の研修制度の普及・資格取得の推進</p> <p>3) 看護職資格の活用基盤強化</p>	<p>1. 職能委員会</p> <p>1) 保健師職能委員会(9/9、10/23、12月メール開催、2月メール開催)</p> <p>2) 助産師職能委員会(9/7、10/29、11/30、3/22 Web開催)</p> <p>3) 看護師職能委員会(領域Ⅰ) (9/7、10/27、11/24、2/27 Web開催、3/23 Web開催)</p> <p>4) 看護師職能委員会(領域Ⅱ) (8/31、9/17、10/22、11/27、12/16、2/17 Web開催)</p> <p>2. 職能集会・交流会</p> <p>1) 職能集会 中止</p> <p>2) 各職能別交流会</p> <p>(1) 保健師職能交流会 中止</p> <p>(2) 助産師職能交流会(管理者、中堅) 中止</p> <p>(3) 看護師職能交流会(領域Ⅰ) (2/27) Web開催(参加者31名) ・シンポジウム テーマ「COVID-19についての取組を共有しよう」</p> <p>(4) 看護師職能交流会(領域Ⅱ) (11/27) Web開催(参加者74名) ・講演「体験から学ぶ新型コロナウイルス感染症～発生から収束まで～」</p> <p>(5) 准看護師交流会 中止</p> <p>1. 県行政等への要望・意見具申</p> <p>1) 県の令和3年度予算等に関する要望書の提出(9/10) ※会員からの要望 33施設・37名・1委員会 95件 <要望事項></p> <p>(1) 2025年を見据えた看護職の定着・確保の推進</p> <p>(2) 質の高い看護の提供体制の整備</p> <p>(3) 地域包括ケアシステムの構築の推進</p> <p>2) 県議会等の活動への協力依頼等 1回 (9/29自由民主党)</p> <p>3) 県へ新型コロナウイルス感染症対策に関する要望書の提出</p> <p>(1) 医療機関・介護施設・訪問看護事業所等に対する衛生材料の確実な供給(4/28)</p> <p>(2) 医療的ケア児を養育する家庭等に対する衛生材料等の確実な供給(4/28)</p> <p>(3) 地域における感染管理に関する専門性の高い看護師の活用による体制強化(4/28)</p> <p>(4) 新型コロナウイルス感染症対応している看護職に対する危険手当の支給等(4/28)</p> <p>(5) 妊娠中の看護職員の休業に伴う代替職員の確保(4/28)</p> <p>(6) 国の交付金の活用による新型コロナウイルス感染症対応している医師及び看護職員に対する危険手当の支給等(5/15)</p> <p>(7) 新型コロナウイルス感染症に係るワクチンの訪問看護師等への早期接種(1/22)</p> <p>4) 千葉県医療審議会等への参画 千葉県・市町村等関係会議：74回 関係団体等会議：49回</p> <p>2. 看護関連施策に対する提言(看護制度)</p> <p>1) 国・日本看護協会等の要望・提言</p> <p>2) 資格認定制度の推進</p> <p>(1) 専門看護師、認定看護師等の資格取得の促進</p> <p>(2) 特定行為に係る看護師の研修制度の普及・資格取得の推進</p> <p>3) 看護職資格の活用基盤強化 看護職資格の活用基盤強化を考える会(日本看護協会によるWeb開催) 開催日：令和2年12月14日(月) 13:00～17:00 場 所：千葉県看護会館 2階大研修室</p>

Ⅵ 介護保険法に基づく指定居宅サービス、居宅介護支援に関する事業並びに健康保険法に基づく訪問看護に関する事業

【目的】

在宅療養者に質の高い訪問看護及び居宅介護支援を提供するとともに、訪問看護の普及啓発等を通して在宅療養者の環境づくりに寄与する。

事 業	内 容																																																																																								
1. 訪問看護事業 1) 質の高い訪問看護の提供 2) 在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援 3) 24時間、緊急時の訪問看護の提供	<p>1. 訪問看護事業（訪問看護師常勤換算 3/31現在7.0名、昨年同時期7.6名）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">1) 質の高い訪問看護の提供</td> </tr> <tr> <td>利用者数延（名）</td> <td>915</td> <td>867</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td> 介護保険利用者</td> <td>557</td> <td>470</td> <td>87</td> </tr> <tr> <td> 医療保険利用者</td> <td>358</td> <td>397</td> <td>△39</td> </tr> <tr> <td>訪問回数（回）</td> <td>5,411</td> <td>5,103</td> <td>308</td> </tr> <tr> <td> 介護保険利用者</td> <td>2,793</td> <td>2,279</td> <td>514</td> </tr> <tr> <td> 医療保険利用者</td> <td>2,618</td> <td>2,824</td> <td>△206</td> </tr> <tr> <td colspan="4">2) 在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援</td> </tr> <tr> <td>在宅での看取り（名）</td> <td>24</td> <td>43</td> <td>△19</td> </tr> <tr> <td>人工呼吸器装着患者（名）</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>△1</td> </tr> <tr> <td>小児（名）</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>△1</td> </tr> <tr> <td colspan="4">3) 24時間、緊急時の訪問看護の提供</td> </tr> <tr> <td>緊急訪問延（回）</td> <td>221</td> <td>265</td> <td>△44</td> </tr> <tr> <td>休日緊急訪問延（回）</td> <td>66</td> <td>112</td> <td>△46</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 居宅介護支援事業 （ケアマネジャー常勤換算 3/31現在1.0名、昨年同時期1.7名）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">1) ケアプランの提供</td> </tr> <tr> <td>ケアプラン作成（件）</td> <td>193</td> <td>467</td> <td>△274</td> </tr> <tr> <td colspan="4">2) 地域のネットワークづくり（居宅サービス事業者との連携）</td> </tr> <tr> <td>担当者会議（回）</td> <td>21</td> <td>105</td> <td>△84</td> </tr> <tr> <td colspan="4">3) 利用者支援（介護認定支援業務）</td> </tr> <tr> <td>利用者の申請代行（件）</td> <td>44</td> <td>30</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 訪問看護の普及 1) 訪問看護研修生の受入れ 2) 看護学生実習の受入れ</p> <p>4. 地域ニーズに応じた運営体制の整備 1) 在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援 2) ちば訪問看護ステーション定例会議 月1回 3) ちば訪問看護ステーション運営会議 年2回程度</p> <p>5. 医療機関・介護サービス事業所及び他職種との連携 1) 医療機関、介護支援専門員等との連携 地域連携の会・交流会、ケア担当者会議への参加</p>		令和2年度	令和元年度	増減	1) 質の高い訪問看護の提供				利用者数延（名）	915	867	48	介護保険利用者	557	470	87	医療保険利用者	358	397	△39	訪問回数（回）	5,411	5,103	308	介護保険利用者	2,793	2,279	514	医療保険利用者	2,618	2,824	△206	2) 在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援				在宅での看取り（名）	24	43	△19	人工呼吸器装着患者（名）	4	5	△1	小児（名）	3	4	△1	3) 24時間、緊急時の訪問看護の提供				緊急訪問延（回）	221	265	△44	休日緊急訪問延（回）	66	112	△46		令和2年度	令和元年度	増減	1) ケアプランの提供				ケアプラン作成（件）	193	467	△274	2) 地域のネットワークづくり（居宅サービス事業者との連携）				担当者会議（回）	21	105	△84	3) 利用者支援（介護認定支援業務）				利用者の申請代行（件）	44	30	14
	令和2年度	令和元年度	増減																																																																																						
1) 質の高い訪問看護の提供																																																																																									
利用者数延（名）	915	867	48																																																																																						
介護保険利用者	557	470	87																																																																																						
医療保険利用者	358	397	△39																																																																																						
訪問回数（回）	5,411	5,103	308																																																																																						
介護保険利用者	2,793	2,279	514																																																																																						
医療保険利用者	2,618	2,824	△206																																																																																						
2) 在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援																																																																																									
在宅での看取り（名）	24	43	△19																																																																																						
人工呼吸器装着患者（名）	4	5	△1																																																																																						
小児（名）	3	4	△1																																																																																						
3) 24時間、緊急時の訪問看護の提供																																																																																									
緊急訪問延（回）	221	265	△44																																																																																						
休日緊急訪問延（回）	66	112	△46																																																																																						
	令和2年度	令和元年度	増減																																																																																						
1) ケアプランの提供																																																																																									
ケアプラン作成（件）	193	467	△274																																																																																						
2) 地域のネットワークづくり（居宅サービス事業者との連携）																																																																																									
担当者会議（回）	21	105	△84																																																																																						
3) 利用者支援（介護認定支援業務）																																																																																									
利用者の申請代行（件）	44	30	14																																																																																						
3. 訪問看護の普及 1) 訪問看護研修生の受入れ 2) 看護学生実習の受入れ	<p>3. 訪問看護の普及 1) 訪問看護研修生の受入れ 依頼なし 2) 看護学生実習の受入れ 10名（2校）述べ15日間 県立保健医療大学6名（10/12～14、11/16～18、12/14～16） 城西国際大学 4名（12/1～3、1/12～14）</p>																																																																																								
4. 地域ニーズに応じた運営体制の整備 1) 在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援 2) ちば訪問看護ステーション定例会議 月1回 3) ちば訪問看護ステーション運営会議 年2回程度	<p>4. 地域ニーズに応じた運営体制の整備 1) 在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援 2) ちば訪問看護ステーション定例会議（4/21、5/19、6/23、7/21、9/15、10/20、11/17、12/15、1/19、2/16、3/16） 3) ちば訪問看護ステーション運営会議（4/21、3/16）</p>																																																																																								
5. 医療機関・介護サービス事業所及び他職種との連携 1) 医療機関、介護支援専門員等との連携 地域連携の会・交流会、ケア担当者会議への参加	<p>5. 医療機関・介護サービス事業所及び他職種との連携 1) 医療機関、介護支援専門員等との連携 地域連携の会・交流会、ケア担当者会議への参加 地域交流会（11/21、12/20、1/23）、地域連携の会（3/11Web開催）</p>																																																																																								

<p>2)利用者確保のための広報活動</p> <p>6. 職員の資質の向上</p> <p>1)事例検討ミーティング</p> <p>2)研修会・学会等への参加</p> <p>3)地域の行事・交流会、連絡会等への参加(再掲)</p> <p>7. ちば訪問看護ステーション未来づくり計画の推進</p> <p>1)看護協会立の訪問看護ステーションとしての公益的・先駆的な取り組み</p> <p>2)職員が働きやすく、魅力ある職場づくり</p> <p>3)経営の安定化</p> <p>4)看護協会ちば訪問看護ステーション運営評価委員会の開催 年度末1回</p> <p>8. 千葉県認知症初期集中支援推進事業 (千葉市委託)</p> <p>1)認知症に係る各機関との連携・調整</p> <p>2)認知症の人及びその家族に対する支援の検討及び提供</p> <p>3)認知症の人及びその家族に対する情報収集及び提供</p> <p>4)認知症の人及びその家族に対する研修会、交流会等の実施</p>	<p>2)利用者確保のための広報活動</p> <p>地域連携の会などの交流を通し、あんしんケアセンターを中心に広報活動を実施。</p> <p>6. 職員の資質の向上</p> <p>1)事例検討ミーティング (4/21、5/19、6/23、7/21、9/15、10/20、11/17、12/15、1/19、2/16、3/16)</p> <p>2)研修会・学会等への参加 認知症初期集中支援チーム員研修1名 (8/24、25)</p> <p>3)地域の行事・交流会、連絡会等への参加(再掲)</p> <p>7. ちば訪問看護ステーション未来づくり計画の推進</p> <p>1)看護協会立の訪問看護ステーションとしての公益的・先駆的な取り組み</p> <p>2)職員が働きやすく、魅力ある職場づくり</p> <p>3)経営の安定化</p> <p>4)看護協会ちば訪問看護ステーション運営評価委員会 (3/29)</p> <p>8. 千葉県認知症初期集中支援推進事業 (千葉市委託)</p> <p>1)認知症に係る各機関との連携・調整</p> <p>2)認知症の人及びその家族に対する支援の検討及び提供</p> <p>3)認知症の人及びその家族に対する情報収集及び提供</p> <p>チーム員会議 (5/19、6/16、7/21、8/18、9/15、10/20、11/17、12/15、1/19、2/16、3/16)</p> <p>5事例に対し79回訪問他、電話・メールによる対応</p> <p>4)認知症の人及びその家族に対する研修会、交流会等の実施</p>
---	--

Ⅶ その他、この法人が目的を達成するために必要な事業

【目的】

1. 県民の健康な生活の実現に貢献するために、地域の特性を考慮した看護の提供及び保健知識の普及を行う。
2. 情報提供及び広報を行う。
3. 当協会会員に対する相互扶助等の(福利厚生)事業を行う。
4. 県民の健康な生活の実現に貢献するために、公益社団法人としての組織運営を円滑・適正に行う。

事業	内容
<p>1. 地区部会活動事業</p> <p>1)具体的な地区部会活動</p> <p>(1)役員会 年5回程度</p> <p>(2)連絡会 年2回程度</p> <p>(3)研修会 年3回</p> <p>(4)まちの保健室の開催 (再掲)</p> <p>(5)「看護の日」「看護週間」事業 (再掲)</p> <p>(6)その他、地区特有の事業</p> <p>①合同就職説明会の開催 (再掲)</p> <p>②医療安全担当者地区交流会の開催(再掲)</p> <p>2)地区部会長会の開催 年2回</p> <p>2. 情報提供、広報事業</p> <p>1)千葉県看護協会の広報</p> <p>(1)機関誌「看護ちば」の発行 年4回</p> <p>(2)ホームページの充実</p> <p>(3)協会パンフレット等の活用</p> <p>2)広報委員会の開催 年6回</p>	<p>1. 地区部会活動事業</p> <p>1)具体的な地区部会活動</p> <p>(1)役員会 19回 (Web開催6、書面等2)</p> <p>(2)連絡会 1回</p> <p>(3)研修会 0回</p> <p>11地区が役員会のみ開催、1地区が役員会と連絡会開催</p> <p>(4)まちの保健室の開催 (再掲) 中止</p> <p>(5)「看護の日」「看護週間」事業 (再掲) 中止</p> <p>(6)その他、地区特有の事業</p> <p>①合同就職説明会の開催 (再掲) 中止</p> <p>②医療安全担当者地区交流会の開催(再掲) 中止</p> <p>2)地区部会長会の開催 (7/28、2/18Web開催)</p> <p>2. 情報提供、広報事業</p> <p>1)千葉県看護協会の広報</p> <p>(1)機関誌「看護ちば」の発行 (4月号、7月号、10月号、1月号)</p> <p>(2)ホームページの充実 6/24リニューアルオープン</p> <p>アクセス数：327,995件 (前年209,900件) 伸び率：156.3%</p> <p>(3)協会パンフレット等の活用</p> <p>2)広報委員会の開催 (9/2、10/29、11/26、12/22、1/14、2/25)</p>

収 益 事 業

事 業	内 容
<p>1.施設の貸与等事業 1)別館2階会議室②の貸付</p> <p>2.販売手数料及び出展広告に関する事業 1)看護関連図書の紹介 2)総会・医療安全大会等 出展広告掲載業者の募集</p> <p>3)会員管理受託業務及び代議員選出受託業務（日本看護協会）</p> <p>3.会員サービス・福祉の充実等 1)会員への相談支援、情報提供 2)看護職の表彰</p> <p>3)慶弔見舞金等の給付</p> <p>4)災害時の支援(再掲)</p> <p>5)会員福利厚生サービスの実施・広報</p>	<p>1.施設の貸与等事業 1)別館2階会議室②の貸付 終了</p> <p>2.販売手数料及び出展広告に関する事業 1)看護関連図書の紹介 2)総会・医療安全大会等 出展広告掲載業者の募集 第16回医療安全大会冊子掲載協賛 7社 3)会員管理受託業務及び代議員選出受託業務（日本看護協会）</p> <p>3.会員サービス・福祉の充実等 1)会員への相談支援、情報提供 2)看護職の表彰 (1)春の叙勲 4名（うち瑞宝双光章2名、瑞宝単光章2名） 秋の叙勲 1名（瑞宝双光章 1名） (2)厚生労働大臣表彰 1名 (3)千葉県知事表彰 13名 (4)千葉県看護協会長表彰 272名</p> <p>3)慶弔見舞金等の給付 弔慰金 11名</p> <p>4)災害時の支援(再掲) ①災害 ・熊本県災害義援金 送金先：同県看護協会 3,492,149円（121会員施設等） ②感染症 ・衛生材料の受入 日本看護協会、企業等から、フェイスシールド、防護ガウン、マスクなど409施設へ配布 ・寄附金の受入 生活協同組合コープみらい、東洋羽毛</p> <p>5)会員福利厚生サービスの実施・広報 クラブオブ利用者数 8,389名（前年比 88.7%） ①看護ちばへのキャンペーンの掲載（4月号、7月号、10月号、1月号） ②協会ホームページへのトピックスの掲載（毎月） ※非常事態宣言発令中は掲載なし ③クラブオブナビ（冊子）、PRカード（名刺サイズ）配架・配布</p>

法 人 会 計

事 業	内 容
<p>1.組織運営に関する会議等の開催 1)総会（終了後、職能集会） 年1回 開催日：令和2年6月23日(火) 場 所：アパホテル&リゾート 東京ベイ幕張ホール</p> <p>2)理事会 年6回程度</p>	<p>1.組織運営に関する会議等の開催 1)総会 開催日：令和2年6月23日(火) 13:30～15:15 場 所：アパホテル&リゾート 東京ベイ幕張ホール 参加者数：43名（一般会員24名、役員19名） 書面議決権行使：19名 委任状：19,476名 3密回避のため書面議決書と委任状により参加者を大幅に絞って開催 審議事項 第1号議案 名誉会員の推薦について 第2号議案 令和元年度事業報告及び決算報告並びに監査報告について 第3号議案 令和2年度改選役員及び推薦委員の選任について 第4号議案 2021年度公益社団法人日本看護協会通常総会 代議員・予備代議員の選出について</p> <p>2)理事会（5/22、6/23、7/16、8/25、10/8、12/10、2/18） 7/16以降はWeb開催</p>

3)監事監査 4)施設等会員代表者会	年2回 (5月、11月) 年2回	3)監事監査 (5/8、11/17) 4)施設等会員代表者会 (7/16中止、1/28) 第1回 1/28 Web開催 参加者数：一般会員90施設、役員18名 議事 令和2年度事業の進捗状況について 令和3年度重点事業について パネルディスカッション [新型コロナウイルス感染症時代における新人看護職の人材育成]
5)地区部会長会 6)保助看護能委員会(再掲) 7)推薦委員会	年2回 (7月、1月) 年6回程度 年6回程度	5)地区部会長会 (7/28、2/18) 6)保助看護能委員会(再掲) 7)推薦委員会 (9/11、10/30、11/27、1/29、2/26、3/26) 1/29以降はWeb開催
8)常任委員会 (再掲) 教育委員会 労働環境改善委員会 医療安全委員会 広報委員会 会員増促進委員会 看護研究委員会 災害対策委員会	年6回程度	8)常任委員会 (再掲) 教育委員会 労働環境改善委員会 医療安全委員会 広報委員会 会員増促進委員会 看護研究委員会 災害対策委員会
9)千葉県看護連盟との連携合同研修会		9)千葉県看護連盟との連携合同研修会 (1/18Web開催) 参加者：69名 内 容：「新型コロナウイルス感染症対策の実際 ～看護職の活動実践報告～」 実践報告①「医療機関における看護管理者の実践」 実践報告②「地域における認定看護師の実践」
2.会員増の促進		2.会員増の促進 会員数：28,833名 (新規入会者数 2,517名)
1)新規・再入会の促進 2)継続会員への勸奨 3)千葉県内看護師等学校・養成所卒業生に向けた協会案内 (1)看護学生の表彰 (2)千葉県内看護師等学校・養成所卒業生に向けた協会案内		1)新規・再入会の促進 2)継続会員への勸奨 3)千葉県内看護師等学校・養成所卒業生に向けた協会案内 (1)看護学生の表彰 対象：28名 (2)千葉県内看護師等学校・養成所卒業生に向けた協会案内 対象：令和2年度卒業生40校、2,592名 (3)特別講話 対象：7校
4)会員増促進委員会の開催 (年6回)		4)会員増促進委員会 (9/11、10/30、12/4、2/26Web開催)
3.公益社団法人に係る届出事務 (千葉県知事等) 1)令和3年度事業計画・収支予算等の提出 (3月) 2)令和元年度定期報告 (事業報告・決算報告等) (6月) 3)役員等の変更登記及び届出		3.公益社団法人に係る届出事務 (千葉県知事等) 1)令和3年度事業計画・収支予算等の提出 (3月) 2)令和元年度定期報告 (事業報告・決算報告等) (6/30) 3)役員等の変更登記及び届出 (1/8)
4.日本看護協会との連携 1)法人委員会・理事会		4.日本看護協会との連携 1)法人委員会・理事会 法人委員会 (5/8、7/31、8/18、9/25中止、11/27、2/26) Web開催 理事会 (5/8、6/11、7/30、9/25、11/26・27、2/25) 日本看護協会通常総会 (6/11) 書面議決権行使 代議員28名 全国職能交流集会 中止
2)地区別法人委員会 3)職能委員長会		2)地区別法人委員会 (10/29、10/30中止) 地区別職能委員長会 (10/30Web開催) 3)職能委員長会 全国職能委員長会 Web開催 保健師職能委員長会 (3/11) 助産師職能委員長会 (3/11) 看護師職能委員長会Ⅰ (3/10) 看護師職能委員長会Ⅱ (3/10)
4)日本看護協会通常総会代議員選出		4)日本看護協会通常総会代議員選出 (1)2020年度日本看護協会通常総会代議員等研修会 中止 (2)2021年度日本看護協会通常総会代議員 (28名)・予備代議員 (30名)を選出 (6/23)

<p>5.行政等との連携</p> <p>1)千葉県及び市町村主催の会議等への参画</p> <p>2)四師会、日本助産師会及び関係団体との連携</p> <p>3)関係団体の行事等への協賛・後援</p> <p>6.役員・職員の資質の向上と福利厚生</p> <p>1)研修の実施</p> <p>(1)担当業務に係る外部研修等の受講</p> <p>(2)集合研修の実施</p> <p>2)健康診断およびインフルエンザ予防接種</p> <p>3)有給休暇の取得促進</p> <p>7.協会資産の管理</p> <p>1)看護会館等の管理</p> <p>(1)看護会館の管理</p> <p>①保全等</p> <p>②環境整備</p> <p>(2)協会物品の管理</p> <p>①物品台帳の整備</p> <p>(3)公用車の管理</p> <p>2)情報資産の管理・活用</p> <p>(1)情報資産の管理</p> <p>①情報セキュリティの確保</p> <p>②個人情報関連業務の標準化</p> <p>(2)情報資産の活用</p> <p>①グループウェア、ファイルサーバー等による情報共有</p>	<p>5.行政等との連携</p> <p>1)千葉県及び市町村主催の会議等への参画</p> <p>2)四師会、日本助産師会及び関係団体との連携</p> <p>3)関係団体の行事等への協賛・後援（後援27件）</p> <p>6.役員・職員の資質の向上と福利厚生</p> <p>1)研修の実施</p> <p>(1)担当業務に係る外部研修等の受講</p> <p>(2)集合研修の実施</p> <p>感染対策の基本（7/29、8/4、8/5、8/6、8/12）全職員（40名）</p> <p>2)健康診断およびインフルエンザ予防接種</p> <p>3)有給休暇の取得促進</p> <p>7.協会資産の管理</p> <p>1)看護会館等の管理</p> <p>(1)看護会館の管理</p> <p>①保全等</p> <p>②環境整備</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策物品の整備</p> <p>・AI自動体温計、アルコールディスペンサー、CO2測定器等</p> <p>(2)協会物品の管理</p> <p>①物品台帳の整備</p> <p>(3)公用車の管理</p> <p>2)情報資産の管理・活用</p> <p>(1)情報資産の管理</p> <p>①情報セキュリティの確保</p> <p>②個人情報関連業務の標準化</p> <p>(2)情報資産の活用</p> <p>①グループウェア、ファイルサーバー等による情報共有</p>
--	---



1. 会計基準について

平成24年度、新公益社団法人へ移行したことに伴い、本会の決算書は新公益法人制度に準拠した「20年会計基準」に基づいて作成されることとなり、当該会計基準適用により以下のとおりとなっている。

* 「平成20年会計基準」 国の定める公益社団法人の標準会計方式（平成20年策定、施行）

(1) 会計区分について

会計区分については、「公益目的事業会計」、「収益事業等会計」、「法人会計」の3会計区分にて構成されている。

- ① 「公益目的事業会計」は、定款第4条（事業）の規定による7つの事業に区分している。
- ② 「収益事業等会計」は、収益事業である「施設の貸与等事業」「販売手数料及び出展広告料に関する事業」と、相互扶助事業である「会員福利厚生等に関する事業」に区分している。
- ③ 「法人会計」には、事業費以外の管理部門経費などが計上されている。

(2) 財務3基準について

公益社団法人には、法定要件として次の財務3基準を満たすことが求められる。

- ① 収支相償の原則（認定法第5条6号、第14条）
公益目的事業に係る収入が、公益目的事業に要する費用を超えてはならない。
- ② 公益目的事業比率（認定法第5条8号、第15条）
公益目的事業の費用が、事業費・管理費の合計額の50%以上でなければならない。
- ③ 遊休財産保有制限（認定法第5条9号、第16条）
遊休財産額（用途を定めない財産）が保有制限額（1年分の公益目的事業費相当額）を超えてはならない。

2. 令和2年度決算の概要

令和2年度決算においては、新型コロナウイルス感染防止対策による教育研修、会議、イベント等開催方法の変更中止があり、収益・費用の項目別予算執行に差異が発生している。

全体決算の規模は、収益で352,199千円（予算執行率100.61%）、費用で330,042千円（予算執行率94.85%）であり、主な点は以下のとおりである。

(1) 経常収益について（合計352,199千円）

- ① 受取入会金・年会費は202,134千円で、予算と比較して1,824千円の増額となっている。なお受取入会金・受取年会費については、会費規程に基づき、その50%を公益目的事業会計へ計上している。（残額は法人会計へ計上）
- ② 研修会参加料は6,835千円で、予算と比較して7,596千円の減額となっている。
- ③ 公益事業受託料は57,064千円で、予算と比較して650千円の増額となっている。
- ④ 訪問看護・居宅介護・認知症支援事業収益は67,556千円で、予算と比較して4,514千円の増額となっている。
- ⑤ その他、補助金・助成金は予算額と同額の9,600千円、受取寄付金は800千円の増、事業外収益（雑収益）は2,000千円の増となっている。

(2) 経常費用について（合計330,042千円）

- ① 公益目的事業会計の経常費用の合計は281,993千円で、予算と比較して15,851千円の減額となっている。
- ② 収益事業等会計の経常費用の合計は9,529千円で、予算と比較して293千円の減額である。
- ③ 法人会計の経常費用の合計は38,520千円で、予算と比較して1,760千円の減額である。

(3) 令和2年度決算における財務3基準について

① 収支相償

- イ. 協会全体経常収益352,199千円
= 公益事業246,534千円 + 収益事業等4,476千円 + 法人会計101,189千円
- ロ. 公益事業経常収益246,534千円 - 公益事業経常費用281,993千円
= 公益事業経常増減▲35,459千円
- ハ. ▲35,459千円 + 各種調整額合計▲16,185千円 = ▲51,644千円

→ 公益目的事業に係る収入が、公益目的事業に要する費用を超えていないため、基準を満たしている。

* 各種調整額合計…支出を伴わない費用や、費用計上されない支出などを調整したもの

② 公益目的事業比率

- イ. 協会全体経常費用330,042千円
= 公益事業281,993千円 + 収益事業等9,529千円 + 法人会計38,520千円
- ロ. 公益事業経常費用281,993千円 ÷ (経常費用合計330,042千円 + 記念事業積立額400千円) = 85.34% ≥ 50%
→ 公益目的事業の費用が、事業費・管理費等の合計額の50%以上であるため、基準を満たしている。

③ 遊休財産保有制限

- イ. 総資産1,096,885千円 - 総負債201,951千円 - (控除対象財産600,558千円 - 対応負債15,345千円) = 309,721千円
- ロ. 令和2年度末遊休財産額309,721千円 ≤ 保有制限額312,793千円
→ 遊休財産額が保有上限額を超えていないため、基準を満たしている。

* 控除対象財産…公益目的保有財産など目的の定められた財産で、遊休財産の範囲から除かれる財産をいう。

貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	380,099,336	395,289,087	△ 15,189,751
未収入金	72,635,975	41,602,661	31,033,314
立替金	81,647	586,300	△ 504,653
前払費用	2,214,027	1,529,070	684,957
流動資産合計	455,030,985	439,007,118	16,023,867
2. 固定資産			
(1)基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2)特定資産			
役員退職慰労引当資産	6,231,250	7,097,222	△ 865,972
退職給付引当資産	35,064,540	37,087,585	△ 2,023,045
看護会館取得資産	412,004,460	387,111,424	24,893,036
記念事業積立資産	3,200,000	2,800,000	400,000
特定資産合計	456,500,250	434,096,231	22,404,019
(3)その他固定資産			
建物	361,052,667	368,801,658	△ 7,748,991
構築物	32,718,157	35,220,427	△ 2,502,270
車両運搬具	12,179,431	12,179,431	0
什器備品	73,403,118	77,486,158	△ 4,083,040
図書	31,214,424	31,151,780	62,644
リース資産	23,409,000	17,093,580	6,315,420
その他固定資産	62,351,772	56,598,792	5,752,980
減価償却累計額	△ 412,379,118	△ 409,431,328	△ 2,947,790
電話加入権	1,186,490	1,186,490	0
保証金	104,000	104,000	0
リサイクル預託金	113,730	113,730	0
その他固定資産合計	185,353,671	190,504,718	△ 5,151,047
固定資産合計	641,853,921	624,600,949	17,252,972
資産合計	1,096,884,906	1,063,608,067	33,276,839
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	3,990,820	21,159,154	△ 17,168,334
リース債務	15,345,180	11,534,400	3,810,780
前受金	564,000	876,000	△ 312,000
前受会費	139,698,000	140,646,000	△ 948,000
預り金	1,041,639	1,217,732	△ 176,093
仮受金	16,000	880,000	△ 864,000
流動負債合計	160,655,639	176,313,286	△ 15,657,647
2. 固定負債			
役員退職慰労引当金	6,231,250	7,097,222	△ 865,972
退職給付引当金	35,064,540	37,087,585	△ 2,023,045
固定負債合計	41,295,790	44,184,807	△ 2,889,017
負債合計	201,951,429	220,498,093	△ 18,546,664
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	30,799,673	0	30,799,673
指定正味財産合計	30,799,673	0	30,799,673
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	864,133,804	843,109,974	21,023,830
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(415,204,460)	(389,911,424)	(25,293,036)
正味財産合計	894,933,477	843,109,974	51,823,503
負債及び正味財産合計	1,096,884,906	1,063,608,067	33,276,839

正味財産増減計算書内訳表

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科目	会計区分	公益目的 事業会計	収益事業等会計				法人会計	内部 取引 消去	合計
			施設の貸与 等事業	販売手数料 及び出展広告料 に関する事業	福利厚生等 に関する事業	計			
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1)経常収益									
特定資産運用益		[7,969]	[0]	[14]	[39]	[53]	[1,731]	[△ 0]	[9,753]
特定資産受取利息		7,969	0	14	39	53	1,731		9,753
受取入会金		[15,120,000]	[0]	[0]	[0]	[0]	[15,120,000]	[△ 0]	[30,240,000]
受取入会金		15,120,000	0	0	0	0	15,120,000		30,240,000
受取会費		[85,947,000]	[0]	[0]	[0]	[0]	[85,947,000]	[△ 0]	[171,894,000]
正会員受取会費		85,947,000	0	0	0	0	85,947,000		171,894,000
事業収益		[132,457,120]	[0]	[4,465,915]	[10,213]	[4,476,128]	[0]	[△ 0]	[136,933,248]
教育研修会参加料		6,834,610	0	0	0	0	0		6,834,610
看護職員の資質向上研修事業受託料		4,205,596	0	0	0	0	0		4,205,596
ナースセンター事業受託料		41,441,000	0	0	0	0	0		41,441,000
ナースセンター会館管理受託料		5,840,000	0	0	0	0	0		5,840,000
訪問看護推進事業受託料		800,000	0	0	0	0	0		800,000
小児救急電話相談事業等受託料		985,456	0	0	0	0	0		985,456
日本看護協会受託料		481,104	0	4,265,915	0	4,265,915	0		4,747,019
訪問看護療養費収益		52,298,690	0	0	0	0	0		52,298,690
基本利用料収益		4,264,344	0	0	0	0	0		4,264,344
その他の利用料収益		1,170,723	0	0	0	0	0		1,170,723
居宅介護支援事業収益		2,725,204	0	0	0	0	0		2,725,204
受取手数料		0	0	200,000	10,213	210,213	0		210,213
認知症支援事業		6,141,670	0	0	0	0	0		6,141,670
看護職員派遣調整事業		4,296,167	0	0	0	0	0		4,296,167
雑収益		972,556	0	0	0	0	0		972,556
受取補助金等		[9,600,180]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[△ 0]	[9,600,180]
「看護の日」事業補助金		100,000	0	0	0	0	0		100,000
(公社)日本看護協会助成金		9,500,180	0	0	0	0	0		9,500,180
受取寄付金		[1,400,000]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[△ 0]	[1,400,000]
受取寄付金		1,400,000	0	0	0	0	0		1,400,000
雑収益		[2,001,264]	[0]	[19]	[200]	[219]	[120,803]	[△ 0]	[2,122,286]
受取利息		1,264	0	19	0	19	11,307		12,590
雑収益		2,000,000	0	0	200	200	109,496		2,109,696
経常収益計		246,533,533	0	4,465,948	10,452	4,476,400	101,189,534	△ 0	352,199,467
(2)経常費用									
事業費		[281,993,525]	[0]	[3,142,645]	[6,385,800]	[9,528,445]	[0]	[△ 0]	[291,521,970]
役員報酬		22,172,262	0	114,665	97,126	211,791	0		22,384,053
給与手当		113,689,243	0	2,066,067	725,915	2,791,982	0		116,481,225
賞与		17,788,516	0	278,073	97,701	375,774	0		18,164,290
通勤手当		5,931,186	0	97,406	34,378	131,784	0		6,062,970
役員退職慰労引当金繰入		1,730,956	0	11,604	25,142	36,746	0		1,767,702
退職給付費用		6,143,987	0	35,125	76,104	111,229	0		6,255,216
法定福利費		23,350,851	0	333,816	117,817	451,633	0		23,802,484
福利厚生費		492,371	0	4,482	1,498,132	1,502,614	0		1,994,985
会議費		132,066	0	0	0	0	0		132,066
旅費交通費		521,419	0	0	0	0	0		521,419
通信運搬費		7,589,022	0	4,644	128,373	133,017	0		7,722,039
減価償却費		19,840,344	0	65,048	146,193	211,241	0		20,051,585
消耗什器備品費		207,698	0	0	0	0	0		207,698
消耗品費		5,246,228	0	18,737	18,737	37,474	0		5,283,702
修繕費		1,711,667	0	1,669	4,675	6,344	0		1,718,011
印刷製本費		9,796,465	0	0	0	0	0		9,796,465
燃料費		416,647	0	0	0	0	0		416,647
光熱水料費		5,575,778	0	5,632	15,770	21,402	0		5,597,180
賃借料		1,129,005	0	1,715	4,802	6,517	0		1,135,522
保険料		1,728,632	0	1,438	4,028	5,466	0		1,734,098
諸謝金		4,484,962	0	0	0	0	0		4,484,962
租税公課		9,114,325	0	85,881	44,469	130,350	0		9,244,675
支払負担金		35,000	0	0	0	0	0		35,000
支払手数料		1,326,189	0	92	92	184	0		1,326,373
看護材料購入費		335,510	0	0	0	0	0		335,510
管理諸費		16,743,724	0	16,551	3,346,346	3,362,897	0		20,106,621
図書費		1,259,406	0	0	0	0	0		1,259,406
委託費		1,848,000	0	0	0	0	0		1,848,000
広報費		1,506,130	0	0	0	0	0		1,506,130
雑費		145,936	0	0	0	0	0		145,936

(単位：円)

科目	会計区分	公益目的 事業会計	収益事業等会計				法人会計	内部 取引 消去	合計
			施設の貸与 等事業	販売手数料 及び出展広告料 に関する事業	福利厚生等 に関する事業	計			
管理費		[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[38,520,265]	[△ 0]	[38,520,265]
役員報酬					0	742,858			742,858
給料手当					0	12,529,731			12,529,731
賞与					0	1,653,419			1,653,419
通勤手当					0	727,000			727,000
役員退職慰労引当金繰入					0	166,326			166,326
退職給付費用					0	503,459			503,459
法定福利費					0	2,356,350			2,356,350
福利厚生費					0	31,642			31,642
会議費					0	77,719			77,719
旅費交通費					0	97,942			97,942
通信運搬費					0	3,371,847			3,371,847
減価償却費					0	2,120,404			2,120,404
消耗品費					0	375,104			375,104
修繕費					0	267,459			267,459
印刷製本費					0	3,491,377			3,491,377
光熱水料費					0	575,609			575,609
賃借料					0	1,063,192			1,063,192
保険料					0	158,526			158,526
諸謝金					0	48,916			48,916
租税公課					0	1,644,359			1,644,359
支払負担金					0	279,500			279,500
支払手数料					0	3,772,386			3,772,386
管理諸費					0	1,691,650			1,691,650
交際費					0	95,260			95,260
図書費					0	292,893			292,893
広報費					0	321,200			321,200
雑費					0	64,137			64,137
経常費用計		281,993,525	0	3,142,645	6,385,800	9,528,445	38,520,265	△ 0	330,042,235
評価損益等調整前当期経常増減額		△ 35,459,992	0	1,323,303	△ 6,375,348	△ 5,052,045	62,669,269	△ 0	22,157,232
基本財産評価損益等		0	0	0	0	0	0		0
特定資産評価損益等		0	0	0	0	0	0		0
投資有価証券評価損益等		0	0	0	0	0	0		0
評価損益等計		0	0	0	0	0	0	△ 0	0
当期経常増減額		△ 35,459,992	0	1,323,303	△ 6,375,348	△ 5,052,045	62,669,269	△ 0	22,157,232
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
経常外収益計		0	0	0	0	0	0	△ 0	0
(2) 経常外費用									
固定資産除却損		[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[1,133,402]	[△ 0]	[1,133,402]
建物除却損		0	0	0	0	0	1,083,558		1,083,558
構築物除却損		0	0	0	0	0	49,841		49,841
什器備品除却損		0	0	0	0	0	3		3
経常外費用計		0	0	0	0	0	1,133,402	△ 0	1,133,402
当期経常外増減額		0	0	0	0	0	△ 1,133,402	△ 0	△ 1,133,402
他会計振替前当期一般正味財産増減額		△ 35,459,992	0	1,323,303	△ 6,375,348	△ 5,052,045	61,535,867		21,023,830
他会計振替額		1,000,000	0	△ 1,000,000	6,375,348	5,375,348	△ 6,375,348		0
当期一般正味財産増減額		△ 34,459,992	0	323,303	0	323,303	55,160,519	△ 0	21,023,830
一般正味財産期首残高		199,295,407	5,003,951	4,125,972	35,220	9,165,143	634,649,424		843,109,974
一般正味財産期末残高		164,835,415	5,003,951	4,449,275	35,220	9,488,446	689,809,943	△ 0	864,133,804
II 指定正味財産増減の部									
受取寄付金		30,799,673	0	0	0	0	0		30,799,673
受取寄付金		30,799,673	0	0	0	0	0		30,799,673
当期指定正味財産増減額		30,799,673	0	0	0	0	0	△ 0	30,799,673
指定正味財産期首残高		0	0	0	0	0	0	△ 0	0
指定正味財産期末残高		30,799,673	0	0	0	0	0	△ 0	30,799,673
III 正味財産期末残高		195,635,088	5,003,951	4,449,275	35,220	9,488,446	689,809,943	△ 0	894,933,477

正味財産増減計算書内訳表 (公益目的事業会計)

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科目	公益目的事業会計									合計
	定款事業	看護職の 資質向上事業	看護職確保 ・定着事業	訪問看護 推進事業	健康・福祉 増進事業	調査研究 提言事業	訪問看護 ・居宅事業	その他本会の目 的を達成する為 に必要な事業	公益目的 共通事業	
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1)経常収益										
特定資産運用益	[5,638]	[215]	[236]	[247]	[148]	[1,212]	[175]	[98]	[△0]	[7,969]
特定資産受取利息	5,638	215	236	247	148	1,212	175	98		7,969
受取入金	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[15,120,000]	[△0]	[15,120,000]
受取入金	0	0	0	0	0	0	0	15,120,000		15,120,000
受取会費	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[85,947,000]	[△0]	[85,947,000]
正会員受取会費	0	0	0	0	0	0	0	85,947,000		85,947,000
事業収益	[11,418,602]	[47,341,000]	[800,000]	[5,341,623]	[0]	[67,555,895]	[0]	[0]	[△0]	[132,457,120]
教育研修会参加料	6,834,610	0	0	0	0	0	0	0		6,834,610
看護職員の資質向上研修事業受託料	4,205,596	0	0	0	0	0	0	0		4,205,596
ナースセンター事業受託料	0	41,441,000	0	0	0	0	0	0		41,441,000
ナースセンター会館管理受託料	0	5,840,000	0	0	0	0	0	0		5,840,000
訪問看護推進事業受託料	0	0	800,000	0	0	0	0	0		800,000
小児救急電話相談事業等受託料	0	0	0	985,456	0	0	0	0		985,456
日本看護協会受託料	361,104	60,000	0	60,000	0	0	0	0		481,104
訪問看護療養費収益	0	0	0	0	0	52,298,690	0	0		52,298,690
基本利用料収益	0	0	0	0	0	4,264,344	0	0		4,264,344
その他の利用料収益	0	0	0	0	0	1,170,723	0	0		1,170,723
居宅介護支援事業収益	0	0	0	0	0	2,725,204	0	0		2,725,204
認知症支援事業	0	0	0	0	0	6,141,670	0	0		6,141,670
看護職員派遣調整事業	0	0	0	4,296,167	0	0	0	0		4,296,167
雑収益	17,292	0	0	0	0	955,264	0	0		972,556
受取補助金等	[9,500,180]	[0]	[0]	[100,000]	[0]	[0]	[0]	[0]	[△0]	[9,600,180]
「看護の日」事業補助金	0	0	0	100,000	0	0	0	0		100,000
(公社)日本看護協会助成金	9,500,180	0	0	0	0	0	0	0		9,500,180
受取寄付金	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[1,400,000]	[△0]	[1,400,000]
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	1,400,000		1,400,000
雑収益	[14]	[0]	[0]	[0]	[0]	[610]	[15]	[2,000,625]	[△0]	[2,001,264]
受取利息	14	0	0	0	0	610	15	625		1,264
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	2,000,000		2,000,000
経常収益計	20,924,434	47,341,215	800,236	5,441,870	148	67,557,717	190	104,467,723	△0	246,533,533
(2)経常費用										
事業費	[69,906,708]	[86,654,155]	[8,567,553]	[21,043,330]	[6,129,347]	[59,967,211]	[20,784,356]	[8,940,865]	[△0]	[281,993,525]
役員報酬	4,086,700	7,803,047	2,517,969	3,174,548	1,179,958	1,170,003	2,240,037	0		22,172,262
給与手当	24,252,953	36,334,963	2,744,131	6,231,740	2,454,865	36,655,765	5,014,826	0		113,689,243
賞与	3,191,534	6,708,488	723,246	1,599,932	315,517	4,404,475	845,324	0		17,788,516
通勤手当	1,256,542	2,433,931	240,642	542,262	246,426	851,662	359,721	0		5,931,186
役員退職慰労引当金繰入	457,628	785,165	89,758	185,665	48,350	36,746	127,644	0		1,730,956
退職給付費用	1,391,933	2,368,264	273,332	562,000	146,354	1,015,729	386,375	0		6,143,987
法定福利費	4,389,830	7,892,374	834,820	1,806,535	490,905	6,836,758	1,099,629	0		23,350,851
福利厚生費	50,794	106,915	21,758	24,259	6,590	267,289	14,766	0		492,371
会議費	5,821	28,729	0	8,260	5,600	0	26,698	56,958		132,066
旅費交通費	23,549	81,296	7,398	5,880	32,360	277,484	93,452	0		521,419

(単位：円)

科目	公益目的事業会計										合計
	看護職の 資質向上事業	看護職確保 ・定着事業	訪問看護 推進事業	健康・福祉 増進事業	調査研究 提言事業	訪問看護 ・居宅事業	その他本会の目 的を達成する為 に必要な事業	公益目的 共通事業	内部 取引 消去		
通信運搬費	1,177,370	1,846,995	8,268	988,689	188,507	1,157,840	2,204,963	16,390		7,589,022	
減価償却費	8,033,150	3,487,307	476,520	1,162,339	320,256	930,114	759,540	4,671,118		19,840,344	
消耗什器備品費	62,718	0	0	0	0	144,980	0	0		207,698	
消耗品費	957,133	1,285,883	137,242	949,577	74,950	322,622	237,138	1,281,683		5,246,228	
修繕費	545,134	259,768	19,366	29,166	17,477	665,978	20,706	154,072		1,711,667	
印刷製本費	1,949,587	2,290,036	38,706	172,808	108,252	166,850	5,070,226	0		9,796,465	
燃料費	0	0	0	0	0	416,647	0	0		416,647	
光熱水料費	1,790,699	2,957,683	58,897	98,375	58,949	502,288	69,838	39,049		5,575,778	
賃借料	532,623	191,935	17,898	29,958	17,951	146,370	180,378	11,892		1,129,005	
保険料	435,792	156,067	23,976	26,127	15,056	1,043,802	17,838	9,974		1,728,632	
諸謝金	1,410,872	1,180,300	0	843,838	61,180	660,000	328,772	0		4,484,962	
租税公課	4,953,161	1,721,952	166,782	279,402	166,229	164,500	196,934	1,465,365		9,114,325	
支払負担金	0	0	0	0	0	35,000	0	0		35,000	
支払手数料	3,994	20,461	795	629,480	368	6,600	993	663,498		1,326,189	
看護材料購入費	0	0	0	0	0	335,510	0	0		335,510	
管理諸費	5,844,936	6,506,751	166,049	289,112	173,247	1,725,155	1,467,608	570,866		16,743,724	
図書費	1,224,255	28,045	0	0	0	7,106	0	0		1,259,406	
委託費	1,848,000	0	0	0	0	0	0	0		1,848,000	
広報費	0	162,800	0	1,343,330	0	0	0	0		1,506,130	
雑費	30,000	15,000	0	60,048	0	19,938	20,950	0		145,936	
経常費用計	69,906,708	86,654,155	8,567,553	21,043,330	6,129,347	59,967,211	20,784,356	8,940,865	△ 0	281,993,525	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 48,982,274	△ 39,312,940	△ 7,767,317	△ 15,601,460	△ 6,129,199	7,590,506	△ 20,784,166	95,526,858	△ 0	△ 35,459,992	
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0		0	
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0		0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0		0	
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 0	0	
当期経常増減額	△ 48,982,274	△ 39,312,940	△ 7,767,317	△ 15,601,460	△ 6,129,199	7,590,506	△ 20,784,166	95,526,858	△ 0	△ 35,459,992	
2. 経常外増減の部											
(1) 経常外収益											
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(2) 経常外費用											
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 0	0	
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 48,982,274	△ 39,312,940	△ 7,767,317	△ 15,601,460	△ 6,129,199	7,590,506	△ 20,784,166	95,526,858		△ 35,459,992	
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	1,000,000		1,000,000	
当期一般正味財産増減額	△ 48,982,274	△ 39,312,940	△ 7,767,317	△ 15,601,460	△ 6,129,199	7,590,506	△ 20,784,166	96,526,858	△ 0	△ 34,459,992	
一般正味財産期首残高	△ 119,217,460	△ 195,682,922	△ 58,357,628	△ 126,623,643	△ 47,068,307	△ 11,797,627	△ 196,748,114	954,791,108		199,295,407	
一般正味財産期末残高	△ 168,199,734	△ 234,995,862	△ 66,124,945	△ 142,225,103	△ 53,197,506	△ 4,207,121	△ 217,532,280	1,051,317,966	△ 0	164,835,415	
II 指定正味財産増減の部											
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	30,799,673		30,799,673	
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	30,799,673		30,799,673	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	30,799,673	△ 0	30,799,673	
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0		0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	30,799,673		30,799,673	
III 正味財産期末残高	△ 168,199,734	△ 234,995,862	△ 66,124,945	△ 142,225,103	△ 53,197,506	△ 4,207,121	△ 217,532,280	1,082,117,639	△ 0	195,635,088	

監査報告書

公益社団法人千葉県看護協会
会長 寺口 恵子 様

令和2年度における公益社団法人千葉県看護協会の業務執行状況、公益目的事業会計、収益事業等会計、法人会計の管理、執行状況について、令和2年度監事監査実施計画に基づき、第1回（令和2年11月17日）及び第2回（令和3年5月10日）監査を実施したので、その結果を報告する。

監査の方法

- 1 業務に関しては、事業実績調書、証拠書類・諸帳簿を資料として、会長（代表理事）及び業務執行理事から報告と説明を受け関係書類を調査、閲覧し、業務執行状況を監査した。
- 2 会計に関しては、帳簿及び関係書類を調査、閲覧し、計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等により報告と説明を受け、また公認会計士からの監査報告書を検証して、会計管理、執行状況を監査した。

監査意見

業務執行、予算執行、財産の管理について、正確かつ適正に処理されていることを認める。

令和3年5月10日

公益社団法人千葉県看護協会

監事 飯塚 忠義

監事 石井 崇子

監事 澤田 いづ子

第2号議案 令和3年度改選役員及び推薦委員の選任について

令和3年度役員・推薦委員候補者一覧

※候補者の所属は令和3年4月1日時点の会員登録情報による。
※候補者から提出のあった立候補届出書の抱負を原文のまま掲載。

1 理事 (改選7 / 候補者7名)

■推薦委員会推薦

現	浅野 美知恵	看	東邦大学健康科学部
---	--------	---	-----------

私達の命と生活に影響をもたらすほどの近年の災害からは安全・安心で健康な生活を守る看護職者が益々期待されております。千葉県内の施設間連携や看護の専門性が発揮できるよう、力をつくしたいと思います。

■推薦委員会推薦

新	長谷川 美穂	看	在宅
---	--------	---	----

災害続きの今、看護への期待と役割は大きくなりました。同時に看護者の遣り甲斐だけでなく負担も大きくなっています。そこで、「看護する人を看護する」ような取組みを模索し、微力ながら尽力したいと思います。

■推薦委員会推薦

新	小宮山 日登美	看	株式会社POLAR 訪問看護ステーションひとみ
---	---------	---	----------------------------

病院勤務を経て地域看護実践を行い20年近くなる。その間、病気や障がいを持つ方の療養場所の変化と一緒に体験し課題も感じてきた。領域Ⅱの活動を通じて、制度を包括したケア構築に寄与していきたい。

■推薦委員会推薦

現	久保 ひろみ	看	千葉市立青葉病院
---	--------	---	----------

微力ながらも千葉県看護協会に貢献できるよう努力致します。

■推薦委員会推薦

現	井上 恵子	保	公益社団法人 千葉県看護協会
---	-------	---	-------------------

災害や新型コロナウイルス感染症の拡大防止等に向けて、使命感をもって最前線で活躍する看護職が安心して働きつづけられる環境の整備と役割を最大限に発揮できる様、取り組んで参ります。

■推薦委員会推薦

新	久保木 知子	保	千葉縣市川保健所 (市川健康福祉センター)
---	--------	---	--------------------------

保健師職能として、行政、産業、教育など様々な所属で働く保健師の課題把握やネットワークづくり、資質向上に取り組んでいきたいです。

■推薦委員会推薦

現	田口 真由美	看	公益財団法人柏市医療公社 柏市立柏病院
---	--------	---	------------------------

新型コロナウイルス感染症により、医療職への関心の高まり、看護師への役割期待が大きくなっています。会員皆さまとの連携を深め、地域住民とのつながりを大切に、活動をさせていただきたいと考えています。

2 監事 (改選1 / 候補者1名)

■推薦委員会推薦

現	石井 崇子	看	在宅
---	-------	---	----

新型コロナ感染症が拡大・長期化する中、医療・介護の現場で看護師への期待が寄せられています。協会会員の皆さまをはじめ、県内の医療従事者にとって協会活動が有益となるよう監事として協働したいと思います。

■推薦委員会推薦

新	宇崎 めぐみ	保	千葉県香取保健所 (香取健康福祉センター)
---	--------	---	--------------------------

少子高齢化が進む中、医療・看護・介護ニーズの増大が予想されている。また、地震等の自然災害や感染症の感染拡大、虐待等、多様な健康危機への対応が看護職に求められている。千葉県看護協会が県民の健康な生活の実現に貢献できるよう、微力ながら推薦委員として活動したい。

■推薦委員会推薦

新	鈴木 敦子	看	帝京大学 ちば総合医療センター
---	-------	---	--------------------

この度、推薦委員会の委員に推薦を頂きました。重要な役割ではありませんが、千葉県看護協会活動の一助となれるよう、尽力していきたいと考えております。宜しくお願い致します。

■推薦委員会推薦

新	林 弥生	看	東邦大学医療センター 佐倉病院
---	------	---	--------------------

県内で長く働き、学生としても学ぶ機会がありました。これまで培うことができた人脈を活かして頑張っていきたいと思っております。

■推薦委員会推薦

新	日向 早苗	看	医療法人社団協友会 船橋総合病院
---	-------	---	---------------------

推薦委員としてお役に立てるよう努力していきたいです。未熟者ではありますが、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

■推薦委員会推薦

新	徳田 眞理子	助	地方独立行政法人 東金九十九里地域医療センター 東千葉メディカルセンター
---	--------	---	--

今年度推薦委員として、推薦をいただきました。専門職能団体として目的を達成するための会員の代表として相応しい候補者を公平に推薦させていただく努力をさせていただきます。よろしくお願い致します。

■推薦委員会推薦

新	竹中 敦子	看	千葉県精神科医療センター
---	-------	---	--------------

看護協会の役員、委員の皆様の精力的な活動に敬服しております。私も微力ながら、“地域で輪となりつなげる看護”の活動に貢献していく所存です。

■推薦委員会推薦

新	岡田 智恵	看	なごみの陽 訪問看護ステーション
---	-------	---	---------------------

この度、千葉県看護協会役員、推薦委員として推薦をいただきました。今まで看護協会員として、たくさん恩恵を受けてきましたので、お役に立てることがあれば、幸いです。どうぞよろしくお願い致します。

■正会員推薦

新	横山 直子	看	社会医療法人社団 千葉県勤労者医療協会 介護老人保健施設まくはりの郷
---	-------	---	--

病院、訪問看護、老健と仕事を続けてきました。現在、老健で働いていますが、さまざまな社会的問題をかかえている方や、長期的に医療サポートの必要な方が入所されています。誰もが安心して生活できるように地域に根ざした看護活動をしていきたいと思っております。

第 3 号議案 会員以外の者からの監事の選任について

監 事 (改選 1 / 候補者 1 名)

■理事会推薦

新	青木 隆	会員外	千葉県松戸保健所 (松戸健康福祉センター)
---	------	-----	--------------------------

貴協会の「定款」に定められた「監事の職務」を確実に実行して、少しでも、会員の皆様のお役に立てればと考えております。どうぞよろしくお願い致します。

第4号議案

2022年度公益社団法人日本看護協会通常総会 代議員・予備代議員の選出について

2022年度日本看護協会代議員・予備代議員候補者

【代議員】

	地区	氏名	シメイ	職種	所属
1	理事等	増 淵 美恵子	マスブチ ミエコ	助	日本医科大学千葉北総病院
2		井 上 恵 子	イノウエ ケイコ	保	公益社団法人 千葉県看護協会
3		渡 辺 尚 子	ワタナベ ナオコ	看	公益社団法人 千葉県看護協会
4		久保木 知子	クボキ トモコ	保	千葉県市川保健所 (市川健康福祉センター)
5		青 木 康 子	アオキ ヤスコ	助	キッコーマン株式会社 キッコーマン総合病院
6		田 中 且 子	タナカ カツコ	看	一般社団法人巨樹の会 千葉みなとりハビリテーション病院
7		小宮山 日登美	コミヤマ ヒトミ	看	株式会社 P O L A R 訪問看護ステーションひとみ
8		上 原 亜希子	ウエハラ アキコ	准	公益財団法人日産厚生会 佐倉厚生園病院
9	千葉	岸 部 友 美	キシベトモミ	看	自動車事故対策機構 千葉療護センター
10		大 坂 美 穂	オオサカ ミホ	看	千葉県がんセンター
11		生 澤 敦 子	イケザワ アツコ	看	独立行政法人国立病院機構 千葉東病院
12		上永吉 美代子	カミナガヨシ ミヨコ	看	社会医療法人社団健脳会 千葉脳神経外科病院
13	市原	入 江 昭 子	イリエ アキコ	看	帝京大学ちば総合医療センター
14	船橋	川 崎 敬 子	カワサキ ケイコ	看	東京女子医科大学八千代医療センター
15		宇 梶 智 子	ウカジ トモコ	看	医療法人社団一心会 初富保健病院
16		住 谷 眞由美	スミヤマ ムミ	看	医療法人社団愛友会 津田沼中央総合病院
17	市川	秋 田 葉 子	アキタ ヨウコ	看	公益社団法人地域医療振興協会 東京ベイ・浦安市川医療センター
18		荒 川 由紀子	アラカワ ユキコ	看	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター 国府台病院
19	松戸	菅 原 直 美	スガワラ ナオミ	看	I M S グループ 医療法人財団明理会 新松戸中央総合病院
20	東葛	米 山 あゆみ	ヨネヤマ アユミ	看	医療法人社団圭春会 小張総合病院
21		青 柳 律 子	アオヤギ リツコ	看	医療法人社団ますお会 柏の葉北総病院
22	印旛	工 藤 由 花	クドウ ユカ	看	東邦大学医療センター佐倉病院
23		諸 岡 千賀子	モロオカ チカコ	看	成田赤十字病院
24	利根	菅 谷 志 津	スガヤ シツ	看	地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院
25	山武	林 孝 枝	ハヤシ タカエ	看	大網白里市立 国保大網病院
26	長夷	藤 本 孝 子	フジモト タカコ	看	医療法人社団三愛会 君塚病院
27	君津	賀 来 かおり	カク カオリ	看	社会医療法人社団さつき会 袖ヶ浦さつき台病院
28	安房	山 岸 智 子	ヤマギシ トモコ	看	社会福祉法人太陽会 安房地域医療センター

※保健師、助産師、准看護師を各1名含むこと。候補者の所属は、令和3年4月1日時点の会員登録情報による。

【予備代議員】

	地区	氏名	シメイ	職種	所属
1	理事等	浅 野 美知恵	アサノ ミチエ	看	東邦大学健康科学部
2		長谷川 美 穂	ハセガワ ミホ	看	在宅
3		伊 藤 淳 子	イトウ ジュンコ	看	国際医療福祉大学成田病院
4		鈴 木 美智子	スズキ ミチコ	看	順天堂大学医学部附属浦安病院
5		田 口 眞由美	タグチ マユミ	看	公益財団法人柏市医療公社 柏市立柏病院
6		久 保 ひろみ	クボ ヒロミ	看	千葉市立青葉病院
7		高 柴 律 子	タカシバリツコ	看	成田赤十字病院
8		後 藤 憲 太	ゴトウ ケンタ	准	医療法人社団碩成会 島田台総合病院
9	千葉	高 橋 みどり	タカハシ ミドリ	看	千葉県救急医療センター
10		坂 本 照 美	サカモト テルミ	看	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 Q S T 病院
11		池 畑 久美子	イケハタ クミコ	看	千葉県千葉リハビリテーションセンター
12		石 井 邦 子	イシイ クニコ	看	医療法人社団誠馨会 千葉メディカルセンター
13	松 原 亮 太	マツバラ リョウタ	保	医療法人社団誠馨会 千葉メディカルセンター	
14	市原	鈴 木 美 香	スズキ ミカ	看	千葉県循環器病センター
15	船橋	大 舘 博 美	オオダテ ヒロミ	助	東京女子医科大学八千代医療センター
16		薄 葉 光 子	ウスバ ミツコ	准	医療法人社団一心会 初富保健病院
17		駒 井 里 枝	コマイ サトエ	看	医療法人社団愛友会 津田沼中央総合病院
18	市川	寺 岡 征太郎	テラオカ セイタロウ	看	和洋女子大学
19		川 上 節 子	カワカミ セツコ	看	公益社団法人地域医療振興協会 介護老人保健施設市川ゆうゆう
20	松戸	高 野 ちえ子	タカノ チエコ	看	I M S グループ 医療法人財団明理会 新松戸中央総合病院
21	東葛	佐 藤 秀 子	サトウ ヒデコ	看	医療法人聖峰会 岡田病院
22		鶴 岡 未 央	ツルオカ ミオ	看	社会福祉法人 創仁会 東葛医療福祉センター光陽園
23		勝 川 久美子	カツカワ クミコ	准	医療法人社団圭春会 小張総合病院
24	印旛	安 永 真紀子	ヤスナガ マキコ	看	医療法人鳳生会 成田病院
25		纈 纈 真砂美	コウケツ マサミ	看	医療法人社団愛信会 佐倉中央病院
26		利根	藤 原 浩 美	フジワラ ヒロミ	看
27	山武	井 上 純 子	イノウエ ジュンコ	看	地方独立行政法人 さんむ医療センター
28	長夷	亀 田 日出子	カメダ ヒデコ	看	医療法人 S H I O D A 塩田記念病院
29	君津	鳥 飼 紀 子	トリカイ ノリコ	看	特定医療法人新都市医療研究会君津会 玄々堂君津病院
30	安房	本 橋 則 子	モトハシ ノリコ	看	医療法人沖縄徳洲会 館山病院

候補者の所属は、令和3年4月1日時点の会員登録情報による。

